

各担当の問合せ先（住所／Tel／Fax／E-mail）は
最終ページに掲載しています。

会 告

Vol.40 No.11

会告目次	1
IPSJカレンダー	2
定款改訂（最終版）と代表会員の選出について	4
平成11年度山下記念研究賞の表彰	5
論文賞候補の論文推薦のお願い	11
坂井記念特別賞候補者の推薦募集について	11
研究発表会開催通知	11
第79回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	11
第54回コンピュータと教育研究会	12
第97回グラフィクスとCAD研究会	12
第33回音楽情報科学研究会	12
第27回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	12
第29回音声言語情報処理研究会	13
研究会論文募集	13
「連続セミナー99」参加者募集	14
「コンピュータシステム・シンポジウム」参加者募集	15
「次世代デジタルTVシンポジウム」参加者募集	16
「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」参加者募集	16
「アドバンスト・データベース・シンポジウム'99」参加者募集	18
「情報メディアシンポジウム99」参加者募集	19
「第41回プログラミング・シンポジウム」参加者募集	19
「2000年情報学シンポジウム」参加者募集	20
「情報システムと社会環境シンポジウム」参加者募集	21
ASP-DAC2000開催案内	22
情報処理学会第60回全国大会（大会メインテーマ：21世紀への知恵一人にやさしい情報化 の構築をめざして）一般講演・学生セッション・デモセッション講演募集	23
「画像の認識・理解シンポジウムMIRU2000」論文募集	26
情報処理学会論文誌「知識と情報の共有」特集への論文投稿のご案内	26
日本学術会議第18期会員の推薦について	27
支部だより	28
役員選挙：分野別定数の改訂について	29
会員の皆様へのお知らせ・お願い（会員担当）	30
会議案内（協賛・後援）	30
その他のお知らせ	31
第445回理事会	31
採録論文一覧	32
掲載論文一覧	32
新規入会者の紹介	33
「第41回プログラミング・シンポジウム」参加申込書	34
情報処理学会第60回全国大会講演申込書	35
情報処理学会第60回全国大会デモセッション申込書	36
情報処理学会第60回全国大会一般講演、学生セッションならびにデモセッション送金連絡票	37
情報処理学会「行事」申込書	38
情報処理学会「書籍」申込書	39
人材募集	40
寄贈図書一覧	26



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp>

本誌共定価 1680円（本体1600円）

IPSJカレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
第119回コンピュータビジョンと イメージメディア研究会	九大	11月17日(水) ～18日(木)	当日のみ		40-10 会4p	研
第95回マルチメディア通信と 分散処理研究会	北大	11月18日(木) ～19日(金)	当日のみ		40-10 会5p	研
産業フォーラム/ITS	情報処理学会	11月19日(金)	定員になり次第		40-10 会11p	会
北陸支部 「見学会」	富山富士通	11月24日(水)	定員になり次第		40-11 会28p	陸
中国支部 「講演会」	中電工	11月25日(木)	定員になり次第		40-11 会28p	中
第134回自然言語処理研究会	北大	11月25日(木) ～26日(金)	当日のみ		40-10 会5p	研
第86回ヒューマンインタフェース 研究会	愛媛大	11月25日(木) ～26日(金)	当日のみ		40-10 会6p	研
第11回モバイルコンピューティング 研究会	愛媛大	11月25日(木) ～26日(金)	当日のみ		40-10 会6p	研
第27回数値モデル化と問題解決研究会	奈良女子大	11月25日(木) ～26日(金)	当日のみ		40-10 会6p	研
第16回分散システム/インターネット 運用技術研究会	京大	11月26日(金)	当日のみ		40-10 会6p	研
第21回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	11月26日(金)	当日のみ		40-10 会7p	研
「連続セミナー99」放送が変わる、 インターネットによるデータ配信	工学院大	11月26日(金)	定員になり次第		40-11 会14p	事
四国支部 「講演会」	徳島大	11月26日(金)			40-11 会28p	四
第127回計算機アーキテクチャ 研究会	ラフォーレ 琵琶湖	11月26日(金) ～27日(土)	当日のみ		40-10 会7p	研
第93回システムLSI設計技術研究会	ラフォーレ 琵琶湖	11月26日(金) ～27日(土)	当日のみ		40-10 会7p	研
北陸支部 「講演会」	福井大	11月29日(月)			40-11 会28p	陸
コンピュータシステム・シンポジウム	工学院大	11月29日(月) ～30日(火)	11月17日(水)	9月17日(金)	40-11 会15p	研
第56回情報学基礎研究会	図書館情報大	11月30日(火)	当日のみ		40-10 会8p	研
次世代デジタルTVシンポジウム	早大	12月 1日(水)	11月19日(金)		40-11 会16p	研
四国支部 「講演会」	高知工科大	12月 1日(水)			40-11 会28p	四
マルチメディア通信と分散処理 ワークショップ	鶴見園グランド ホテル(別府)	12月 1日(水) ～ 3日(金)	定員になり次第		40-11 会16p	研
第79回ハイパフォーマンスコンピュ ーティング研究会	NECユーザサロン	12月 3日(金)	当日のみ		40-11 会11p	研
第54回コンピュータと教育研究会	宮城大	12月 6日(月)	当日のみ		40-11 会12p	研
北陸支部 「講演会」	金沢大	12月 6日(月)			40-11 会28p	陸
アドバンスト・データベース・ シンポジウム '99	オリンピック記念 青少年総合センター	12月 6日(月) ～ 7日(火)	11月22日(月)	9月10日(金) 必着	40-11 会18p	研
アジア太平洋ソフトウェア工学 国際会議 (APSEC '99)	四国電力総合 研修所(高松)	12月 7日(火) ～10日(金)	11月5日(金)		40-10 会13p	研
四国支部 「講演会」	高知工科大	12月 8日(水)			40-11 会29p	四
中国支部 「講習会」	中電工	12月 8日(水)	定員になり次第		40-11 会29p	中
第97回グラフィクスとCAD研究会	農工大	12月10日(金)	当日のみ		40-11 会12p	研
情報メディアシンポジウム99	工学院大	12月10日(金)	11月26日(金)		40-11 会19p	研
第33回音楽情報科学研究会	早大	12月11日(土) ～12日(日)	当日のみ		40-11 会12p	研
中国支部 「講演会」	鳥取大	12月14日(火)			40-11 会29p	中
関西支部 「平成11年度セミナー」	天満研修 センター	12月15日(水)			40-11 会29p	西
第27回オーディオビジュアル複合 情報処理研究会	北大	12月16日(木) ～17日(金)	当日のみ		40-11 会12p	研

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
中国支部「映像の科学シンポジウム99」	常盤工業会館	12月17日(金) ～18日(土)			40-11 会29p	中
第29回音声言語情報処理研究会	早大	12月20日(月) ～21日(火)	当日のみ		40-11 会13p	研
第41回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル 小涌園	平成12年 1月11日(火) ～13日(木)	11月26日(金)	8月27日(金)	40-11 会19p	事
2000年情報学シンポジウム	日本学術会議 講堂	1月13日(木) ～14日(金)	12月24日(金)	9月3日(金) 必着	40-11 会20p	研
情報システムと社会環境 シンポジウム	東洋大	1月21日(金)	12月24日(金)	9月10日(金) 必着	40-11 会21p	研
「連続セミナー99」ネットワーク社会の 犯罪防止とプライバシーの保護	工学院大	1月21日(金)	定員になり次第		40-11 会14p	事
ASP-DAC 2000 Asia and South Pacific Design Automation Conference 2000	バシフィコ横浜	1月25日(火) ～28日(金)	12月22日(水)		40-11 会22p	事
分散システム/インターネット 運用技術シンポジウム2000	東大	2月3日(木) ～4日(金)		10月22日(金) 必着	40-9 会15p	研
インタラクティブ2000	東工大	2月29日(火) ～3月1日(水)		10月12日(火)	40-7 会15p	研
数理モデル化と問題解決シンポジウム	同志社大	3月2日(木) ～3日(金)		12月17日(金) 必着	40-10 会15p	研
「連続セミナー99」安心ホームヘルス ケア/バーチャルホスピタル	工学院大	3月7日(火)	定員になり次第		40-11 会14p	事
情報処理学会第60回全国大会	拓殖大	3月14日(火) ～16日(木)		12月3日(金)	40-11 会23p	事
画像の認識・理解シンポジウム MIRU2000	長野ビッグハット	7月18日(火) ～21日(金)		平成12年 1月31日(月)	40-11 会26p	研
IFIP「第16回世界コンピュータ会議」	中国北京	8月21日(月) ～25日(金)		平成12年 1月10日(月)	40-7 会18p	事
The 2001 Symposium on Applications and the Internet (SAINT-2001)	サンディエゴ 米国	平成13年 1月8日～ 数日間(予定)		平成12年 5月1日	40-9 会14p	事
2000年記念並列処理シンポジウム JSP2000	早稲田国際 会議場	5月30日(火) ～6月1日(木)		12月14日(火)	40-10 会17p	研
論文誌投稿締切			発行予定月	論文/応募締切	掲載頁	
論文誌特集号「情報セキュリティの理論とその応用」			平成12年8月	11月30日(火)	40-6 会24p	論
論文誌特集号「システムソフトウェアの新しい潮流」			平成12年6月	12月10日(金)	40-8 会16p	論
論文誌特集号「モバイルコンピューティング」			平成12年9月	12月24日(金)	40-8 会17p	論
論文誌特集号「知識と情報の共有」			平成12年10月	平成12年 3月15日(水)必着	40-11 会26p	論
論文誌特集号「電子化知的財産・社会基盤」			平成12年11月	平成12年 4月20日(木)	40-10 会15p	論
論文誌特集号「インターネット応用システムの構築と 運用管理」			平成12年12月	平成12年 4月28日(金)	40-10 会16p	論
論文誌特集号「マルチメディアネットワークシステム」			平成13年初頭	平成12年 5月8日(月)	40-10 会16p	論
その他				応募/推薦締切	掲載頁	
情報処理学会フェロー候補者推薦				11月15日(月) 必着	40-10 会18p	総
日本学術会議第18期会員の推薦				12月6日(月) 必着	40-11 会27p	総
代表会員候補者募集				12月15日(水) 必着	40-11 会4p	総
坂井記念特別賞候補者推薦				平成12年 1月14日(金)	40-11 会11p	総
論文賞候補の論文推薦				1月14日(金) 必着	40-11 会11p	論

記1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
記2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号付録(会告)に掲載されています。
記3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 調査研究, 事: 事業, 国: 国際, 論: 論文誌, 編: 会誌, 総: 総務, 経: 経理, 会: 会員,
規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当までお願いします。
記4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。本: 本誌, 会: 会告(付録), 全大: 全国大会プログラム(付録)

定款改訂（最終版）と代表会員の選出について

会長 長尾 真

本会の定款改訂につきましては、会誌6月号会告「第41回通常総会」でご報告の通り、文部省の認可を受けるに際し、訂正等の指示があった場合の処置は理事会に一任することを含め、第41回通常総会（平成11年5月20日）でご承認をいただいております。

その後、文部省からいくつかの指摘がありました。理事会の判断で若干の訂正を加え、最終版を平成11年8月5日に文部省に提出し、10月20日現在、新定款の施行について同省の認可を待っている状況です。

すでに会員の皆様にはご承知の通り、改訂の目的は、(1) 目的および事業の見直し、(2) 総会成立定数の変更、(3) フレキシブルな学会運営の3点です。

このうち(2)項は、「公益法人の設置基準および指導監督基準」に示される総会の成立要件（民法上の社員の過半数の出席を要する）に適合するよう、代表会員制度を設け、民法上の社員の定義を変更したものです。文部省提出最終版は、この部分について文部省から受けた指摘に従って修正がなされたもので、民法上の社員は、総会で承認された内容から一部修正をして次のように定義されております。

[文部省提出の民法上の社員の定義]

民法上の社員

└役員：理事および監事

└代表会員：次の候補者から選挙により選出された100～150名の者

(1) 理事会推薦候補者：各種事業に推進的役割を持つ者、および特別に指名された者

(2) 一般立候補者：在籍5年以上の正会員で、5名の正会員が推薦する者

[相違の概要]

項目	文部省提出内容	総会承認内容
民法上の社員	役員（理事、監事）を含む。	役員は含まない。
代表会員対象者	一般正会員からの立候補を認める。	規程により指名された者に限る。
代表会員選出方法	選挙を行う。	会告に掲載し、異議を申し出てもらふ。

上記からご理解いただけます通り、定款改訂により民法上の社員となる代表会員の選出は、遅くとも平成12年5月の次期通常総会に間に合うように行う必要があります。現在、選出手続きを開始する時期に来ております。現時点（10月20日）ではまだ定款の認可を得ていませんが、代表会員制度につきましては文部省の了解を得られましたので手続きを先行させてゆきます（新定款の詳細につきましては文部省の認可があり次第ご報告予定です）。

以下に、一般正会員の皆様からの代表会員立候補の募集と、選出手続きをご案内いたしますので、ご精読いただき新しい代表会員制度が所期の機能を果たすよう皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

代表会員候補者の募集について

前述の説明の通り、定款の民法上の社員の定義変更により、総会における議事議決権は、正会員と名誉会員によって選出された代表会員と役員が有することになります（代表会員以外の正会員と名誉会員も総会に出席して発言することは可能です）。

代表会員は、在籍5年以上の正会員であり、本会の各種事業等に推進的な役割を担う理事会推薦候補者（各種委員会等の委員長・幹事等）、および一般正会員の立候補者から選挙により選出されます。初回代表会員の選出は、理事会推薦候補者および一般正会員からの立候補者を併せて会誌2月号に公示のうえ、役員選挙と同時に実施予定です。

つきましては、一般正会員の皆様からの代表会員立候補の募集を行います。

在籍5年以上の正会員の方で代表会員に立候補される方は、以下の代表会員立候補届に必要事項を記入のうえ、12月15日（水）必着迄に「代表会員立候補」と朱記し、郵便にて学会事務局宛に提出ください。

なお、選出された代表会員の方の任期は、平成12年4月1日～平成13年3月31日となります。その間、総会にご出席（委任状による出席を含む）のうえ、議事の議決をいただくこととなりますので、あらかじめご了承のうえ立候補ください。

*立候補には正会員5名以上の推薦が必要です。

代表会員立候補届（切り取り：拡大コピーしてご利用ください）

(社) 情報処理学会 会長 長尾 真 殿

以下の通り、正会員5名の推薦を受けて、代表会員に立候補します。

平成 年 月 日

(在籍5年以上正会員)

氏名： _____ 印 所属： _____ 会員番号： _____

本会での主な活動歴： _____

[推薦者]

氏名： _____ 印 所属： _____ 会員番号： _____

氏名： _____ 印 所属： _____ 会員番号： _____

氏名： _____ 印 所属： _____ 会員番号： _____

氏名： _____ 印 所属： _____ 会員番号： _____

氏名： _____ 印 所属： _____ 会員番号： _____

※提出先：〒108-0023東京都港区芝浦3-16-20芝浦前川ビル7F (社) 情報処理学会 Tel(03)5484-3535

平成11年度山下記念研究賞の表彰

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈をいただいた資金を活用するため、平成6年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。

本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は表彰対象の16研究会の主査から推薦された計19編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、第443回理事会（平成11年6月）および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の受賞者は下記の19君で、去る9月28日に岩手県立大学で開催された第59回全国大会の席上、会長から表彰状、賞牌、賞金が授与されました。

[コンピュータサイエンス領域]

●パターン指向とリスクドリブンの特徴とするビジネスアプリ向けオブジェクト指向開発技法

[オブジェクト指向シンポジウム'98 (1998.9.17)] (ソフトウェア工学研究会)



山本里枝子君（正会員）
昭和35年生。昭和58年早稲田大学工学部電子通信学科卒業。同年、富士通（株）入社。現在、富士通研究所コンピュータシステム研究所ソフトウェア研究部に所属。オブジェクト指向開発技法、ソフトウェア開発環境、ソフトウェアアーキテクチャ等

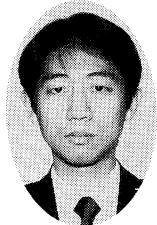
の研究開発に従事。平成3年情報処理学会論文賞受賞。IEEE-CS会員。

[推薦理由]

本論文は実践的な開発作業体系、中間生産物を含んだドキュメント体系、および、リスク管理とパターン化を中核とするプロジェクト運用方式を提案した発表であり、オブジェクト指向開発技術に関する実用面からの研究として評価できる。

●非数値計算プログラムのスレッド間命令レベル並列を利用するプロセッサ・アーキテクチャSKY

[並列処理シンポジウムJSPP'98 (1998.6.3)] (計算機アーキテクチャ研究会)



小林良太郎君（学生会員）
平成7年名古屋大学工学部電子情報学科卒業。平成9年同大学大学院工学研究科電子情報学専攻博士前期課程修了。現在、同大学院工学研究科電子情報学専攻博士後期課程在学中。計算機アーキテクチャの研究に従事。電子情報通信学会会員。

[推薦理由]

スーパースカラに代わる新しいマイクロプロセッサのアーキテクチャとしてオンチップマルチプロセッサが注目されている。マルチプロセッサが汎用マイクロプロセッサとして実用化されるためには、小さな並列性しか有さない非数値計算プログラムより効率よく並列性を引き出すことが要求される。本論文ではこのような要求に対し、従来に比べきわめて小さなオーバーヘッドで並列性を引き出すことが可能なマルチプロセッサのアーキテクチャを提案している。本研究は今後のマイクロプロセッサの研究に大きな貢献をすると期待できる画期的なものである。

●AgentSpace：高階モバイルエージェントシステム

[98-PRO-18 (1998.3.23)] (プログラミング研究会)



佐藤 一郎君（正会員）
平成3年慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業。平成5年同大学大学院工学研究科計算機科学専攻修士課程修了。平成6～7年Rank Xerox Research Centre客員研究員。平成8年同博士後期課程修了。博士（工学）。同年、お茶の水女子大学理学部情報科学科助手。

平成10年同助教授。平成11年10月より科学技術振興事業団さきがけ研究21研究員を兼任。並行計算理論、分散システム、オブジェクト指向計算、モバイルエージェントに関する研究に従事。平成8年度情報処理学会論文賞受賞。平成10年度日本ソフトウェア科学会高橋奨励賞受賞。日本ソフトウェア科学会、人工知能学会、ACM、IEEE各会員。

[推薦理由]

本論文は、分散環境で稼働する複数のエージェントによって構成される系のモデルと実装について報告したものである。複数のエージェントのグループをエージェントとみなすことのできる階層的なエージェント系の重要性に着目し、そのようなエージェントの計算機間の移動の記述機能と、移動エージェントの制御や通信プロトコルをメタ的に記述する機能とを与えることにより、高度な記述が可能なモデルとなっている。計算主体の移動性、階層性、およびメタ定義可能性は、オブジェクト指向計算や広域分散計算で関心の高い話題であり、これらを融合したモデルを理論から実装まで一貫して扱い有効性を示した点は高く評価される。

●広域水運用計画への対話型多目的計画法の応用

[97-MPS-15 (1997.9.26)] (数理モデル化と問題解決研究会)



加藤 博光君 (正会員)

平成5年東京大学工学部航空学科卒業。平成6年スタンフォード大学大学院航空宇宙工学修士課程修了 (M.S.)。平成7年東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻修士課程修了。同年、(株)日立製作所入社。現在、同社システム開発研究所にて、最適化

技術を応用した耐故障・耐災害システムの研究開発に従事。計画、予測、学習、組織行動などの情報制御システム技術に興味を持つ。

[推薦理由]

本発表では、上水道の水運用計画を、日量単位の概要レベルと時間単位の詳細レベルに分け、前者に対話型多目的計画法を、後者に最小費用流問題の算法を用いる手法を提案している。本手法により、モデルパラメータのチューニングにユーザの要望を柔軟に反映すること、高速に実用的な運用案を作成することの、両方を満たすことが可能となった。これは、従来は困難とされていたことであり、実験データで本手法の有効性が確かめられた。論文は理論と実験結果の両方にわたって分かりやすく書かれ、口頭発表も要領を得て明快であった。

[情報環境領域]

●実空間でのコンテキストを利用して仮想空間内をガイドするマルチモーダルなパーソナルエージェント

[マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO '98) (1998.7.10)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)



門林理恵子君 (正会員)

昭和60年大阪大学文学部史学科卒業。平成9年同大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士 (工学)。ソフトウェア会社勤務を経て、平成2年シャープ (株) 入社。移動体通信プロトコルの研究等に従事。平成6年9月より、(株) ATR通信システム研究所、

平成7年4月より (株) ATR知能映像通信研究所客員研究員。コミュニケーション支援技術、情報処理技術の博物館への応用研究に従事。訳書「オープンシステムネットワーク」(ソフトバンク、共訳)。電子情報通信学会会員。

[推薦理由]

本論文では、高度なユーザ適応を目指すエージェントシステムが提案されている。実空間の情報と仮想空間の情報を有機的に連携させる優れたガイドシステムを実現するために、無線通信、インタフェース・デバイス、エージェント技術を用いたサーバクライアントプログラム等を複合的に組織化している。これを実際の展示ガイドシステムへ適用した結果を示し、具体的な評価が行われている。本研究は、マルチメディア通信技術を核とし、人間の認知理解まで踏み込んだ総合的なものであり、今後の研究の進展も期待できる。

●Design of the Hypermedia Presentation Language for Dynamic Hypermedia System

[マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (1998.11.18)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)



勝本 道哲君 (正会員)

平成4年東洋大学工学部情報工学科卒業。平成6年同大学大学院工学研究科博士前期課程電気工学専攻修了。平成8年同後期課程修了。博士号取得。平成8年郵政省通信総合研究所入所。平成11年通信システム部超高速ネットワーク研究室配属。電子情報通信学

会、IEEE Computer Society, ACM各会員。

[推薦理由]

本論文はHTML言語を拡張してメディア同期やQoS制御をサポートする新しい言語HMMLの開発とその制御機構について記述している。ネットワークを介したビデオやオーディオ情報の同期や効率のよいWebでの表示、QoS制御などは近年のインターネットの普及に伴い、非常に重要な基盤技術となっている。本論文ではSMILなどでもサポートされていないQoS制御の面も考慮した新しい言語体系を提案しており、論文としての新規性、有効性が高いと考えられる。

●3次元データへの情報の埋め込み

[Visual ComputingグラフィクスとCAD合同シンポジウム '97 (1997.6.5)] (グラフィクスとCAD研究会)



大淵竜太郎君 (正会員)

山梨大学工学部コンピュータ・メディア工学科助教授。3次元コンピュータグラフィクス全般、特にaugmented realityと3次元形状処理に興味を持つ。昭和56年上智大学理工学部電気電子工学科卒業。昭和58年電気通信大学大学院計算機科学専攻修士課程修

了。平成6年米国University of North Carolina at Chapel Hill Computer Science DepartmentよりPh.D.取得。平成6~11年日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所勤務。ACM, IEEE, 日本ソフトウェア学会各会員。

[推薦理由]

デジタルコンテンツの著作権の通達や保護などを目的に、コンテンツの利用目的を損なわないように情報を埋め込む電子透かし技術が注目されている。本論文では、3次元形状、特にポリゴンモデルへの電子透かしの埋め込みについて提案している。基本アルゴリズムは頂点座標値、頂点間の接続関係、またはその両方を変更することにより情報を埋め込むものである。いくつかの座標値を組み合わせて作った座標変換不変量を用いる点に特徴があり、座標値が変化した場合にも適応可能である。以上から研究賞にふさわしい論文と判断し推薦する。

●情報メディアから身体的メディアへ

[情報メディアシンポジウム'97 (1997.12.9)] (情報メディア研究会)



厩本 純一君 (正会員)

昭和61年東京工業大学理学部情報科学専攻修士課程修了。NEC, アルバート大学コンピュータグラフィックス研究所を経て、平成6年より(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所勤務。現在、同研究所インタラクティブ・ラボラトリー室長。理学博士。

平成6年より、同研究所で「実世界指向ユーザインタフェース」プロジェクトを率い、多くの新世代ユーザインタフェースシステムを構築している。情報処理学会30周年記念論文賞受賞、平成10年マルチメディアコンテンツアソシエーション (MMCA) 技術賞受賞。

[推薦理由]

本論文は、著者の提唱する「実世界指向インタフェース」、つまり実環境の持つ物理的な優位性に着眼し、コンピュータ世界との連携をとる情報メディアの方向性について「情報メディアから身体的メディアへ」の視点から具体的なアイデア (デジタル情報の Pick&Drop等) とその実験評価を交えてまとめたものである。「実世界指向インタフェース」は日本発のユニークで先駆的なコンセプトである高く評価されているとともに、若い世代の新しい感覚の研究スタイルとセンスによって生み出されたものとしても応援したい。また一連の研究成果は商品機能として社会へ発信されていることを評価したい。

●立体ハイビジョンにおける視差補償符号化の検討

[97-AVM-19 (1997.12.5)] (オーディオビジュアル複合情報処理研究会)



内藤 整君 (正会員)

平成6年早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。平成8年同大学大学院修士課程修了。同年、国際電信電話 (株) 入社。以来、KDD研究所にて主に動画像符号化の研究に従事。

[推薦理由]

立体ハイビジョン映像のデジタル圧縮符号化技術に関して、左右2つのステレオ映像間の視差を利用した国際標準圧縮方式である MPEG-2 マルチビュープロファイルの性能分析を画質と立体感を性能指標として入念に行い、問題点ならびにその対策を明らかにした初めての論文である。その最初の試みとともに、分析データから得られた技術要件 (たとえば、40Mbpsが最低限必須のビットレートであること) が今後の立体ハイビジョン映像符号化の研究開発に対して貴重な指針を与える点が高く評価できる。

●身体的メタファーとしてのメディアスペース

[97-GW-23 (1997.5.22)] (グループウェア研究会)



三樹 弘之君 (正会員)

昭和60年東京理科大学大学院修士課程修了。工学修士。平成2~4年、カリフォルニア大学サンディエゴ校認知科学科訪問研究員。現在、沖電気工業 (株) マルチメディア研究所勤務。主にCSCW, 認知工学, ならびにユーザビリティ評価技術の研究に従事。

従事。

[推薦理由]

本研究は、実際の社会生活におけるビデオを活用した遠隔共同作業支援システムの問題点を解決するための技術の方向性を探ることを目的としている。複数のカメラとモニターを用いた遠隔指示システムを用いて緻密な比較実験と分析を行い、身体的なメタファーとよぶ概念を導出し検証を試みている。特に、共同作業の分析の方法論に関して、示唆に富む提言を行っており、困難といわれているグループウェアの評価手法に1つの方法論を与えている点で推薦に値する。

●片手操作キーカード (SHK) による日本語入力

[97-MBL-1 (1997.5.30)] (モバイルコンピューティング研究会)



杉本 正勝君 (正会員)

昭和17年生。昭和40年東京大学工学部電気工学科卒業。昭和42年同大学大学院電子工学修士課程修了。昭和45年同博士課程修了。博士論文「PL/I言語処理用の電子計算機」。昭和45年より日本ソフトウェア(株)勤務。昭和47年富士通(株)入社、ソフト

工学、機械翻訳システム等研究開発に従事。昭和57年(株)富士通研究所へ移り、第五世代コンピュータ、知識ベース等研究に従事。平成元年、米国富士通子会社へ出向、SHKの研究を開発。平成6年富士通研究所へ戻り、モバイルコンピューティングの研究に従事。人工知能学会、日本ソフトウェア科学会、IEEE、ACM各会員。

【推薦理由】

本発表は将来のモバイルコンピューティング環境における情報入力手法における課題を整理し、その一解決法を示した。論理は明快で、先見性に富んでいる。また、実際に試作装置を開発し、発表時にデモンストレーションを行った。開発した片手操作キーカードは小型軽量で、場所を問わずに片手で文字入力が行える。キー数が限られるが、曖昧さ解消型圧縮ローマ字漢字変換などを導入して、軽快な入力を可能としている。単なる発表にとどまらず、候補者自らが実演することで、操作感や入力速度等が聴講者に直接伝わった優れた発表であった。

[フロンティア領域]

●書き換え規則と文脈情報を用いた形態素解析後処理

[98-NL-126 (1998.7.23)] (自然言語処理研究会)



久光 徹君 (正会員)

昭和59年東京大学理学部数学科卒業。昭和61年同大学理学系研究科修士課程(数学専攻)修了。同年より(株)日立製作所基礎研究所入所。平成11年(株)日立製作所中央研究所入所。以来、自然言語処理の研究に従事。現在に至る。その間、平成7年1

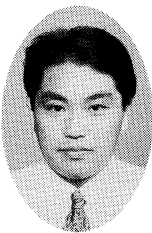
～12月米国Sheffield大学計算機科学科客員研究員。電子情報通信学会、言語処理学会、ACL各会員。

【推薦理由】

本研究は日本語の形態素解析で生じる誤りを、書き換え規則を用いて修正する方法を提案している。従来の誤り主導学習を拡張して語境界誤りまで含めて扱えるようにし、さらに「窓」を用いた文脈情報の利用、ルール獲得・適用方法の簡略化など独自の工夫を重ねることにより、少数の教師データから効果的な書き換え規則を抽出することに成功した。本手法の適用によりタスクやドメインに応じて低コストで形態素解析の精度を高めることができ、技術的な新規性と併せて実用面からも高く評価できる。

●ニュース文要約のための局所的な要約知識獲得とその評価

[98-NL-126 (1998.7.24)] (自然言語処理研究会)



加藤 直人君 (正会員)

昭和37年生。昭和61年早稲田大学理工学部電気工学科卒業。昭和63年同大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了。同年日本放送協会(NHK)に入局、放送技術研究所に勤務。平成6年ATR音声翻訳通信研究所に出向。平成9年NHK放送技術研究

所に復帰。機械翻訳、対話処理、音声言語処理、自動要約の研究に従事。電子情報通信学会、言語処理学会各会員。

【推薦理由】

近年インターネットが普及し大量の文字情報が氾濫するのに伴って、大量の情報の中から必要な情報だけを取捨選択する技術が必要となってきており、そのような技術の1つとして、文章要約技術が有望視されている。その中で、本論文は、要約用例からその局所的な要約知識を自動獲得するという今までになかったアプローチを提案しており、新規性がある。ニュース文要約という明確なターゲットを設定し、読み上げ原稿-文字放送の原稿という現実的かつ適切な素材を用いており、実用化への期待が持てる点も高く評価できる。

●創発的計算と計算論的組織理論による情報ネットワーク社会モデル

[98-ICS-110 (1998.1.22)] (知能と複雑系研究会)



寺野 隆雄君 (正会員)

昭和51年東京大学計数工学科数理工学コース卒業。昭和53年同情報工学科修士課程修了。昭和53～平成元年(財)電力中央研究所勤務。平成2年筑波大学大学院経営システム科学専攻、平成8年同教授(筑波大学大学院企業科学専攻兼任)。工学博士。平成8

年イリノイ大学ならびにスタンフォード大学客員研究員。創発的計算手法、組織行動、機械学習、知識システム開発方法論などの研究に従事。計測自動制御学会、人工知能学会、日本OR学会、電気学会、経営情報学会、社会情報学会、IEEE、AAAI、ACM各会員。

【推薦理由】

従来の計算論的組織理論における社会のシミュレーションモデルでは、各エージェントの機能が単純すぎ、またパラメタが多すぎたため、モデルの実在性と予測性能が低かった。本研究は、各エージェントにかなり本格的な推論能力を与え、なおかつ社会科学的に有意義なパラメタ化を行うことによって、これらの難点を克服するモデルを提案しており、その有効性を実際の社会現象に照らして検証している。この意味で社会科学への計算論的アプローチに新たな展望を拓くものとして高く評価できる。

●眼底画像からの眼底形状の3次元復元・表示

[98-CVIM-111 (1998.5.27)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)



出口 光一郎君 (正会員)
昭和51年東京大学大学院修士課程修了(計数工学)。東京大学工学部助手。昭和59年同講師。山形大学工学部情報工学科助教授。昭和63年東京大学工学部計数工学科助教授。平成10年東北大学情報科学研究科助教授。東京大学工学系研究科客員教授併任、

現在に至る。この間、平成3~4年、米国ワシントン大学客員準教授。コンピュータビジョン、画像計測、並列コンピュータの研究に従事。計測自動制御学会、電子情報通信学会、日本ロボット学会、形の科学会、IEEE各会員。

【推薦理由】

本論文は眼底カメラによって撮影された2枚の眼底画像から、ステレオ視の原理によって、眼底血管の3次元的な分布を計算する手法について述べている。本論文の優れている点は、理論と実践が高度にバランスしていることである。コンピュータビジョンの研究において、理論的な研究はややもすると理論のための理論に流れ、実践的な研究は理論的な解析ができるにもかかわらず発見的な手法に頼る嫌いがあるが、本研究では明確な実用目的を持った上で、それを実現するための理論解析を行うというスタンスをとっている。

●Eigen-Texture法—3次元モデルにもとづく見えの圧縮—

[画像の認識・理解シンポジウム (MIRU'98) (1998.7.29)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)



佐藤 洋一君 (正会員)
平成2年東京大学工学部機械科卒業。同大学院情報工学科を経て平成3~8年カーネギーメロン大学計算機科学部ロボティクス学科博士課程在籍。平成9年Ph.D.in Robotics修了。平成9年より東京大学生産技術研究所講師。コンピュータビジョン、ヒ

ューマン・コンピュータ・インタフェース、コンピュータグラフィックスなどに関する研究に従事。特に物体表面反射特性の解析、3次元物体モデルの自動生成、Perceptual User Interfaceなどに関心を持っている。IEEE、電子情報通信学会各会員。

【推薦理由】

本論文は、複合現実感システムなどにおいて現実感の高い仮想物体画像を合成するために、視点や光源位置を変えて撮影した現実物体の実画像列を、3次元形状と併せて蓄積・利用するという手法を提案すると共に、その実現に際しては、物体各点の濃淡変化の有する高い相関性により、画像列のデータ量を固有空間法を用いて大幅に圧縮できることを示したものである。光源位置に応じた陰影の合成や多様な物体への適用など、従来手法の課題を克服する新たなアプローチを示唆し、かつ今後の応用・展開が期待できる優れた研究であり、本賞に値する。

●計算機科学の頻出概念の理解を目指した情報リテラシー教育

[97-CE-46 (1997.12.19)] (コンピュータと教育研究会)



神村 伸一君 (正会員)
昭和34年生。昭和57年東北学院大学工学部応用物理学科卒業。同年、日立マイクロコンピュータエンジニアリング(株)入社。平成2年までマイコン開発支援システムの品質評価に従事。その後、専門学校教員を経て、平成5年東北科学技術短期大学情報工学

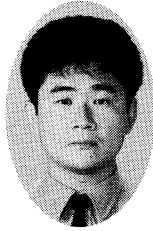
科助手。平成11年東北文化学園大学科学技術学部応用情報工学科助手、現在に至る。ネットワークデザイン、教育情報システム、情報教育に関する研究に従事。日本教育工学会、日本工学教育協会各会員。

【推薦理由】

本論文は、情報リテラシー能力の育成、特に情報発信能力を育てる教育に関し、計算機科学における「頻出概念」をその基礎に据えて学習内容を立案し、実際に授業をして有用性を検証し、理論的に考察したものである。ACMおよびIEEE-CSにおいて抽出された「頻出概念」12項目は、計算機科学のみならず、一般情報教育の基礎として重要であることが指摘されているが、実際に活用している例は多くなく、貴重な実例である。本研究においては、その着想が優れているだけでなく、「頻出概念」に照応する個々の事例の採用が適切であり、今後の具体的な教育にも資するものである。

●和歌データベースからの類似歌の自動抽出

[98-CH-40 (1998.10.23)] (人文科学とコンピュータ研究会)



竹田 正幸君 (正会員)

昭和39年生。昭和62年九州大学理学部数学科卒業。平成元年同大学大学院総合理工学研究科情報システム学専攻修士課程修了。同年より同大学工学部電気工学科助手。平成8年より同大学院システム情報科学研究科情報理学専攻助教授。博士(工学)。パター

ン照合アルゴリズム、データ圧縮、機械発見、情報検索、自然言語処理などに興味を持つ。人工知能学会、日本ソフトウェア科学会各会員。

[推薦理由]

古典文学作品の全文データベース化が各所で進みつつあり、作成されたデータベースを利用して、人文科学的な知見をいかに導くかが次の研究課題となりつつある。竹田氏は、データマイニングのアプローチにより、和歌データベースに収録された大量の和歌を解析し、従来の和歌研究において指摘されていなかった類似歌を自動抽出することに成功した。本発表は、大規模データベースの高度活用の先駆的な研究といえる。また本研究は、共著者である人文科学研究者との密接な協力関係による生まれた成果であり、プロジェクトの学際性の点でも高く評価できる。

●WWW上での歌声による曲検索システム

[98-MUS-24 (1998.2.19)] (音楽情報科学研究会)



園田 智也君 (学生会員)

平成10年早稲田大学理工学部情報学科卒業。現在、同大学大学院修士前期課程在学中。音楽検索、WWWサーチエンジンなど情報検索に関する研究に従事。情報処理学会第55回全国大会奨励賞受賞。

[推薦理由]

本研究は歌声で入力した旋律情報から曲のタイトルをWWW上で検索する方法についての研究である。人の歌声は音高・音長が不安定なため、従来より効果的なマッチングをとるのは容易ではなかった。本研究では有効な検索キーを得るための最適な閾値を設定する手法およびデータベースの曲から正答の曲の候補を精度よく絞り込むためのマッチング手法を提案し、従来手法に比べて高い正答率が得られるようになったことを、その構成要素ごとに定量的評価により具体的に示した。研究テーマ自体も今後一層の発展が期待できる将来性ある研究である。

～～*～～ 産業フォーラム ～～*～～

<http://www.ipsj.or.jp/forum/>

技術開発の先端的シーズを学术界から産業界へ、技術的ニーズを産業界から学术界へと皆様の率直な情報交換の場として「産業フォーラム」を開設し、技術テーマごとにサブフォーラムを設けて今年度は次のテーマでいたします。

- | | | |
|---------------|---------|--------------|
| ・ウェブコンピューティング | コーディネータ | 坂下 善彦 (三菱電機) |
| ・次世代インターネット | コーディネータ | 浅見 徹 (KDD研) |
| ・ITS | コーディネータ | 小花 貞夫 (KDD研) |
| ・情報家電 | コーディネータ | 千葉 滋 (シャープ) |

産業フォーラムにつきましての、ご意見、ご質問をお受けいたしております。
開催日等の詳細はホームページまたは会告欄をご参照ください。

(社) 情報処理学会 会員担当

※※※※※※※※※※※※※※※※

論文賞候補の論文推薦のお願い

論文集編集委員会

平成11年度論文賞の候補論文を推薦される会員は、下記事項を参考のうえ、論文の題名、著者名、掲載巻号、推薦理由および推薦者住所氏名を官製はがきに記入のうえ、本学会論文賞係宛お送りください。

【論文賞選定条件】

選定範囲および推薦数 平成10年10月から平成11年9月までの間に「情報処理学会論文集」(Vol.39 No.10～Vol.40 No.9), 「情報処理学会論文集：プログラミング」(Vol.39 No.SIG1 (PRO1), Vol.40 No.SIG1 (PRO2), Vol.40 No.SIG4 (PRO3), Vol.40 No.SIG7 (PRO4)), 「情報処理学会論文集：数理モデル化と応用」(Vol.40 No.SIG2 (TOM1)), 「情報処理学会論文集：データベース」(Vol.40 No.SIG3 (TOD1), Vol.40 No.SIG5 (TOD2), Vol.40 No.SIG6 (TOD3)) に発表された論文の中から1編。

推薦資格 本学会正会員に限ります。

締切日 平成12年1月14日(金)

表彰規程(抜粋)

第3章 論文賞

第9条 論文賞は、本学会の機関誌に発表された論文およびテクニカルノート(以下テクニカルノートを含め論文という)のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。

第10条 表彰する論文は、原則として毎年4編とするが、編数は事情により変更することができる。

第11条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の10月から前年の9月までの間に発表されたものであることを要する。

第12条 表彰する論文が共著の場合は、共著者全員を表彰する。

第13条 論文賞は同一著者に重ねて授与しても差支えない。

第14条 論文賞は、賞状、賞牌および賞金とする。賞金は、論文1編につき50,000円とする。

※※※※※※※※※※※※※※※※

坂井記念特別賞候補者の推薦募集について

第8回(平成11年度)坂井記念特別賞の候補者を募集いたします。

本賞は、若手研究・開発者の「業績」に対して贈られる賞であり、候補者の業績は本学会の論文には限りません。以下をご一読のうえ多くの候補者の方のご推薦をいただけますようお願いいたします。

賞の候補者は、情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野の研究・開発に従事し、学術・技術の進歩に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展に期待がもてる39歳(平成12年3月末現在)までの研究・開発者を対象といたします。なお、過去に応募された方の再応募も可能です。

賞の候補者を推薦される方は、下記「坂井記念特別賞候補者推薦要領」を参照のうえ、期日までに事務局宛に「坂井記念特別賞候補者推薦書」を郵送ください。

第8回(平成11年度)

坂井記念特別賞候補者推薦要領

●対象分野 情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、

ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野とする。

●候補者の対象 情報処理に関する分野の研究・開発に従事し、その成果が顕著であると認められ、今後、学術・技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究・開発を活発に行っている本学会正会員で39歳(平成12年3月末現在)までの若手研究・開発者とする。なお、候補者は個人、または共同研究・開発の場合は、その代表者とする。

●推薦者 本学会正会員とする。

●推薦手続 所定の推薦用紙に必要事項を記載し、本会あてに1部を提出する。

●推薦締切日 平成12年1月14日(金)必着とする。

●選考方法 学会内に坂井記念特別賞候補者選定委員会を設け候補者4名以内を選定し、理事会において決定する。

*なお、選考の過程で、推薦者または候補者に照会する場合がありますのであらかじめご承知おきください。

●賞の贈呈 平成12年5月の第42回通常総会で表彰(賞状および賞金30万円を贈呈)

注) 本賞の候補者を推薦される方は、下記事務局宛に推薦用紙をご請求いただくか、または学会WWWホームページ(<http://www.ipsj.or.jp/>)をご参照ください。推薦用紙のサイズはA4判としますが、ホームページ上の見本に準拠したものであれば、事務局配布のものに限りません。

[推薦用紙請求先・提出先・照会先]

(社)情報処理学会 坂井記念特別賞係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail:somu@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535

Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp>

※※※※※※※※※※※※※※※※

研究発表会開催通知

(平成11年12月3日～12月21日)

◆第79回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (発表件数:14件)

(主査:佐藤三久,幹事:須田礼二,妹尾義樹,朴 泰祐)

日時 平成11年12月3日(金)9:15～17:45

会場 NECユーザサロンC

[東京都港区芝2-7-17住友芝公園ビル7F。地下鉄(都営三田線):芝公園下車,A1出口前。またはJR(山手線):田町下車,徒歩15分。Tel(03)5232-3083]

議題 HPPFおよび一般

[9:15～10:45] ●数値処理

(1) DQGMRES (m,k) 法とその前処理について

大澤史典,佐藤拓郎,野寺 隆(慶大)

(2) Euler定数の多倍長高速計算法

平山 弘,佐藤創太郎(神奈川工大)

(3) FFTを用いた球面上の非圧縮性流体方程式の高速解法

服部啓太,石黒貴之,須田礼仁,杉原正顕(名大)

[11:00～12:30] ●並列処理言語と負荷分散

(4) 並列処理言語CLIPの実装と評価

柳瀬龍郎,奥川峻史(福井大)

(5) 短距離並列分子動力学シミュレーションにおける動的負荷分散法の性能評価

林 亮子,堀口 進(北陸先端大)

(6) JavaPM/MyrinetとSORBの性能評価

岡崎史裕,松田元彦,入口浩一(新情報)

[13:30～15:30] ●HPPF

(7) HPPF/JAベンチマークプログラムを用いたHPPFの性能評価

水見俊介,高橋 俊(日立)

(8) 異機種並列分散システムにおけるHPPFプログラムの実行と評価

荒木拓也,松浦健一郎,村井 均
末広謙二,小西弘一,妹尾義樹(新情報)

- (9) Cenju-4におけるHPFの評価 高橋正樹 (原研)
末広謙二, 妹尾義樹 (NEC), 横川三津夫 (原研)
- (10) HPFによる実用コードの並列化とその性能評価
坂上仁志, 小川雄三, 高橋 豊 (姫工大)
- [15:45~17:45] ●最適化手法
- (11) 実行時再コンパイルによる並列プログラムのメモリ割り付け最適化 村井 均, 荒木拓也, 松浦健一郎
末広謙二, 妹尾義樹 (新情報)
- (12) データ並列言語の通信生成方式とマルチグリッド法への適用 太田 寛, 西谷康仁 (新情報)
- (13) 非構造メッシュ用Block ILU前処理付き反復法のベクトル化手法 丸山訓英, 鷲尾 巧, 土肥 俊 (NEC)
- (14) スパースソルバにおけるコピー削減方式
山本有作 (日立), 猪貝光祥 (日立超LSIシステムズ)
直野 健 (日立)

◆第54回 コンピュータと教育研究会 (発表件数: 8件)

(主査: 武井恵雄, 幹事: 角 行之, 河村一樹, 澤田伸一)

日 時 平成11年12月6日 (月) 13:30~17:30

会 場 宮城大学 本部棟2F多目的室 (予定)

[宮城県黒川郡大和町学苑1. JR (東北新幹線): 仙台駅下車, 市営地下鉄 (南北線): 泉中央駅下車, バス (市営, 宮城交通): 宮城大学前 (泉パークタウン行き) 下車. Tel(022)377-8360 (河村)]

議 題

- (1) 宮城大学における情報システム学教育の実践とその評価
河村一樹, 斐品正照 (宮城大)
- (2) 宮城大学における小・中学生を対象にした情報教育の試み (2)
斐品正照, 河村一樹 (宮城大)
- (3) Linuxによる一般情報処理教育 永井克彦, 中村 純
隅谷孝洋, 長登 康, 庄司文由 (広島大)
- (4) グループにおける情報共有を取り入れた指導展開
中野 充 (石巻専修大), 石原慎士 (聖和学園高校)
- (5) CPUとアセンブラ授業のための事例に基づくプログラム評価支援システム 渡辺博芳, 荒井正之, 武井恵雄 (帝京大)
- (6) 情報教育のための教育支援プロジェクト—長野県小諸市立美南ガ丘小学校での長野大学学部生による実践例—
角 真慈, 田畑克哉, 稲葉寛樹, 目代恵子
林 雅子, 伊藤龍太郎, 中澤祐一, 山崎沙智夫
小林 忍, 平岡信之, 和田 勉 (長野大)
- (7) 大学の一般教養における情報教育に対する提言
駒谷昇一 (NTTソフトウェア)
- (8) 新教科「情報」のWBT教材
吉井 潤 (NTTソフトウェア)

*研究会終了後, 懇親会を開催します。

◆第97回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 近藤邦雄, 幹事: 青野雅樹, 斎藤隆文, 土井章男)

日 時 平成11年12月10日 (金) 10:00~18:00

会 場 東京農工大学 工学部11号館5F多目的会議室
[小金井市中町2-24-16. JR (中央線): 東小金井下車, 徒歩7分. Tel(042)388-7453 E-mail:norimasa@cc.tuat.ac.jp (吉田典正) http://www.tuat.ac.jp/~kitajima/gcad/gcad97.html]

議 題 大規模CGおよび一般

[10:00~11:40]

- (1) フラクタル・自己組織化ボイドの研究
伊藤 靖, 高橋 圭, 蔡 東生 (筑波大)
- (2) 3次元仮想空間におけるオブジェクト間の衝突検出の一技法
山地秀美, 新藤義昭 (日本工大)
- (3) 離散グラフの選択的詳細化に基づく多面体上の近似最短経路算出とその応用 金井 崇 (理研), 鈴木宏正 (東大)
- [12:40~17:00]
- (4) リアルタイム表示に適した多重表現による群生する草形状モデルの研究 橋爪宏之, 吉田典正, 北嶋克寛 (農工大)

- (5) 複数の投影像を用いた高速化3次元テクスチャ・レンダラ
小笠原祐治 (岩手産業技術短大)
村岡一信, 千葉則茂 (岩手大)
- (6) セル構造オートマトンによる微小剛体の集合体形状モデル
斎藤敏樹, 富川裕樹, 高井昌彰 (北大)
- (7) 曲がった空間上のモンテカルロ・シミュレーションに基づく陰関数曲面のサンプリング
田中 覚, 森崎暁夫, 中田 聡 (福井大)
福田 康 (ビジュアルソフト), 中村智晴 (福井大)
- (8) 絵画風CG画像表現のためのセルオートマトンによる絵具モデル
鈴木崇史, 剣持雪子, 小谷一孔 (北陸先端大)
- (9) 屋外シーンにおける自然な影の簡易生成の試み
林 豪樹, 斎藤隆文 (農工大)
- (10) 障害物を考慮した速度場とメタボールによる煙の表示
吉田 暁, 西田友是 (東大)
- [17:00~18:00] 農工大CG関連研究室デモ (予定)

◆第33回 音楽情報科学研究会 (発表件数: 6件)

(主査: 松島俊明, 幹事: 上原和夫, 小坂直敏, 堀内靖雄)

日 時 平成11年12月11日 (土) 14:00~20:00
12日 (日) 11:00~20:00

会 場 早稲田大学 理工学部
55号館S棟2F第3会議室 (研究発表)
57号館2F視聴覚室 (コンサート)

[東京都新宿区大久保3-4-1. JR (山手線) / 地下鉄 (東西線): 高田馬場下車, 徒歩12分.

http://www.sci.waseda.ac.jp/campus-map/]

議 題

12月11日 (土)

○コンサート1 (14:00~16:00)

[16:20~17:40]

- (1) 流体による音楽入力 ~水のセンシングを用いた楽器の検討
米澤朋子 (慶大/ATR), 間瀬健二 (ATR)
- (2) 形容詞対を用いた音楽データベース検索システム
池添 剛, 梶川嘉延, 野村康雄 (関西大)

○コンサート2 (18:00~20:00)

12月12日 (日)

[11:00~11:40]

- (3) Stanford大学CCRMA最新レポート 藤島琢哉 (ヤマハ)

○コンサート3 (13:00~15:00)

[15:30~17:30]

(4) ICMC99参加報告

長嶋洋一 (Art & Science Laboratory)

- (5) 隠れマルコフモデルによる音楽演奏からの音符列の推定
齋藤直樹, 中井 満, 下平 博, 嵯峨山茂樹 (北陸先端大)

(6) 箏曲における歌の音階に関する考察

出口幸子 (攻玉社工科大), 白井克彦 (早大)

○コンサート4 (18:00~20:00)

*インターカレッジコンサート'99と共催

*コンサート参加大学: 早大, 洗足学園大, 神戸山手女子短大, 慶大,

大阪芸大, 京都芸術短大, 東京音楽大, 国立音楽大

*照会先: 松島俊明 (東邦大) Tel(047)472-8237

◆第27回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(10月4日現在発表件数: 3件)

(主査: 松本修一, 幹事: 笠井裕之, 川田亮一, 八島由幸)

日 時 平成11年12月16日 (木)・17日 (金)

会 場 北海道大学 高等教育開発研究部

[札幌市北区北9条西8. 千歳空港からエアポートライナー (約

40分) または高速バス (約1時間30分): 札幌下車, 徒歩約

8分. http://socy.hokudai.ac.jp/map.html

Tel(011)706-6077 (長谷山美紀)]

議 題 テーマ: 画像符号化と一般

(1) 文殊の知恵システムにおける視線情報伝達に関する一検討
坂本信樹 (東大)

(2) 2層ビデオオブジェクト自動生成法とMPEG-4符号化への適用
秦泉寺久美, 渡辺 裕, 小林直樹 (NTT)

- (3) ラプラス分布に基づくJPEG統計モデルの状態割り当て
黒木祥光 (鹿児島高専)

* プログラム最終版は、本研究会ホームページ
<http://www.tom.comm.waseda.ac.jp/~avm/index.html>をご覧ください。

* 電子情報通信学会 (画像工学研究会, 通信方式研究会), 映像メディア学会と共催。

◆第29回 音声言語情報処理研究会 (発表件数: 37件)

(主査: 新田恒雄, 幹事: 川端 豪, 小林哲則, 嵯峨山茂樹)

日 時 平成11年12月20日 (月) 9:00~18:00
21日 (火) 9:00~18:00

会 場 早稲田大学国際会議場 3F 第1会議室

[東京都新宿区西早稲田1-20-14. JR (山手線): 高田馬場下車, 都営バス (早大正門行): 西早稲田下車, 徒歩1分. または営団地下鉄 (東西線): 早稲田下車, 徒歩5分. 詳しくは, <http://web.waseda.ac.jp/koho/guide/univ18.html> Tel(03)5286-3379 (小林哲則)]

議 題 音声言語シンポジウム (SPLC)

12月20日 (月)

[9:00~10:30] ●特別講演

- (1) 音声認識研究の課題 中川聖一 (豊橋技科大)
(2) 日本語ディクテーションソフトの現状と今後の課題
西村雅史 (IBM)

[10:30~11:00] ●ポスター概要講演 (セッションA, B共通)

[11:00~12:30] ●ポスターセッションA

- (3) 英単語音声の強勢音節検出におけるHMMとDPマッチングの比較 藤澤友紀子, 峯松信明, 中川聖一 (豊橋技科大)
(4) Chinese Tone Nuclei Detection based on Sequential Vector Quantization and Linear Discriminant Analysis
Jin-Song Zhang, Keikichi Hirose (東大)
(5) サブバンド音響特徴量の音韻性の情報量基準評価
中島雄大 (早大), 大川茂樹 (千葉工大), 白井克彦 (早大)
(6) 状態遷移に順序関係を持つ非同期遷移型HMM
松田繁樹, 中井 満, 下平 博, 嵯峨山茂樹 (北陸先端大)
(7) 不特定話者混合分布HMMにおけるTree-Basedクラスタリングの検討
加藤恒夫, 黒岩眞吾, 清水 徹, 樋口宜男 (KDD研)
(8) Phonetic tied-mixture モデルを用いた大語彙連続音声認識
李 晃伸, 河原達也 (京大)
武田一哉 (名大), 鹿野清宏 (奈良先端大)
(9) 音声認識のための高速最尤推定を用いた声道長正規化
江森 正, 篠田浩一 (NEC)
(10) 話者照合における話者モデルのMLLR適応の検討
加納淳也, 加藤正治, 伊藤彰則, 好田正紀 (山形大)

[13:45~15:15] ●ポスターセッションB

- (11) A nonlinear cepstral compensation method for noisy speech processing
Zhibin Pan (東北大)
Koji Kotani (東大), Tadahiro Ohmi (東北大)
(12) Application of phone pair model to robust speech recognition
李 宝潔, 広瀬啓吉 (東大)
(13) カルマンフィルタによる雑音除去法を用いた雑音環境下での音声認識
藤本雅清, 有木康雄 (龍谷大)
(14) HMMを用いた環境音識別の検討
三木一浩, 西浦敬信, 中村 哲, 鹿野清宏 (奈良先端大)
(15) An Improvement to 3-D N-best Search using path-distance based clustering for recognizing multiple sound sources Panikos helacleous
Satoshi Nakamura, Kiyohiro Shikano (奈良先端大)
(16) キーワードの音声入力によるニュース音声の検索法
西崎博光, 中川聖一 (豊橋技科大)
(17) ニュース音声に対する検索方法の比較
鷹尾誠一, 緒方 淳, 有木康雄 (龍谷大)
(18) 話題語と言語モデルを用いた音声自動要約法の検討
堀 智織, 古井貞熙 (東工大)

[15:20~18:00] ●特別講演

- (19) 音声認識における環境適応技術 松本 弘 (信州大)

- (20) 実環境におけるハンズフリー音声認識

中村 哲 (奈良先端大)

- (21) マルチモーダル対話システム 小林哲則 (早大)

- (22) Ubiquitous/Wearable Computing環境における音声認識の展望
古井貞熙 (東工大)

12月21日 (火)

[9:00~10:20] ●特別講演

- (23) 機械学習の手法による自然言語処理 春野雅彦 (ATR)
(24) 言語の理論とコミュニケーション媒体としての言語
飯田 仁 (SONY CSL)

[10:30~12:30] ●ポスター概要講演 (セッションC, D共通)

[11:00~12:30] ●ポスターセッションC

- (25) 相手話者発話中の発話開始現象に基づく対話理論の構築
榎本美香, 土屋 俊 (千葉大)
(26) 音声対話におけるターン交代の規則について
川口由起子 (千葉大)
(27) 音声対話システムの誤解に対するユーザ応答の分析
平沢純一, 宮崎 昇, 中野幹生, 相川清明 (NTT)
(28) スカラ量子化を利用したクライアント・サーバ型音声認識の実現とサーバ部的高速化の検討
小坂哲夫
植山輝彦, 櫛田晃弘, 山田雅章, 小森康弘 (キヤノン)
(29) Speech Translation Anywhere: Client-Server Based ATR-MATRIX
シンガー ハラルド, グルーンライナー
内藤正樹, 塚田 元, 西野敦士, 中村 篤, 匂坂芳典 (ATR)
(30) 認識結果の正解確率に基づく信頼度トリジェクション
北岡教英 (デンソー/豊橋技科大), 赤堀一郎 (デンソー)
中川聖一 (豊橋技科大)

[13:45~15:15] ●ポスターセッションD

- (31) 未登録語のクラス依存 サブワードモデルを用いた音声認識
谷垣宏一, 山本博史, 匂坂芳典 (ATR)
(32) ニュース音声認識のための (n≥4) -gramを併用する言語モデル
加藤直人, 浦谷則好, 江原暉将, 安藤彰男 (NHK)
(33) パースフィルタリングを用いた連続音声の認識
花沢 健, 坂井信輔 (NEC)
(34) 音素グラフに基づく仮説制限法を用いた大語彙連続音声認識の検討
岡 直生, 加藤正治, 伊藤彰則, 好田正紀 (山形大)
(35) 語彙制約なし音声認識へのアクセント句境界情報の利用
岩野公司, 広瀬啓吉 (東大)
(36) ニュース音声認識における直前記者原稿を利用した認識性能の改善
松井 淳, 加藤直人, 今井 亨, 安藤彰男 (NHK)
(37) 逐次2パスデコーダを用いたニュース音声認識システム
今井 亨, 小林彰夫, 佐藤庄衛, 安藤彰男 (NHK)

[15:30~18:00] ●パネルディスカッション

テーマ: 音声言語関連大型プロジェクトの現状と将来

司会: 板橋秀一 (筑波大)

パネリスト: 藤崎博也 (東京理科大), 板倉文忠 (名大)
古井貞熙 (東工大), 市川 薫 (千葉大), 広瀬啓吉 (東大)
田中穂積 (東工大), 山本誠一 (ATR)

* 電子情報通信学会 (音声研究会, 言語理解とコミュニケーション研究会) と共催。

*** 研究会 論文募集 ***

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で, 発表題目, 発表者名 (登壇者に○), 略称所属, 概要 (50字程度), 発表申込者連絡先 (住所, 氏名, Tel, Fax, E-mail) を明記の上, 各研究会照会先までE-mailまたはFaxで直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は, 事務局研究会担当宛 (E-mail: sig@ipsj.or.jp Fax: (03)5484-3534) に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

◆モバイルコンピューティング研究会

日 程 平成12年2月3日(木)・4日(金)
会 場 横須賀リサーチパーク
http://www.yrp.co.jp/

発表申込締切 平成11年11月26日(金)
照会先 井上真杉(通信総研) E-mail:inoue@crl.go.jp
Tel(0468)47-5064 Fax(0468)47-5069

◆音声言語情報処理研究会

日 程 平成12年2月4日(金)・5日(土)
会 場 箱根「静雲荘」(予定)
議 題 テーマ:音声によるヒューマンインタフェース
発表申込締切 平成11年11月中旬
照会先 川端 豪(NTT研究所)
E-mail:kaw@nttspch.hil.ntt.co.jp
Tel(0468)59-2341 Fax(0468)55-1054

◆数理モデル化と問題解決研究会

日 程 平成12年2月7日(月)・8日(火)
会 場 ゆふいん山水館(大分県大分郡湯布院町)
論文誌投稿,研究会発表申込締切 平成11年11月25日(木)
照会先 城 和貴(奈良女子大)

E-mail:joe@ics.nara-wu.ac.jp Tel(0742)20-3443

*できるだけE-mailをお願いします。連絡を受けましたら、3日以内に返信いたしますので、返信のない場合にはご連絡ください。
*数理モデル化と問題解決研究会に関する最新情報
Web: http://pdap1.trc.rwcp.or.jp/sigmps/
ML: 登録ご希望の方は下記をご覧ください。
http://pdap1.trc.rwcp.or.jp/sigmps/maillinglist.html

◆システムLSI設計技術研究会

日 程 平成12年2月9日(水)
会 場 機械振興会館
議 題 テーマ:VLSI設計とテストおよび一般
発表申込締切 平成11年12月3日(金)
照会先 伊藤和人(埼玉大)
E-mail:kazuhito@ees.saitama-u.ac.jp
Tel(048)858-3731 Fax(048)858-0940

*電子情報通信学会(フォールトトレラントシステム研究会)と連続開催(10日(木)).
*できるだけE-mailをお願いします。
*研究会HP: http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/SIGDA/

◆マルチメディア通信と分散処理研究会

日 程 平成12年2月9日(水)・10日(木)
会 場 長野県工科短期大学(上田市)
発表申込締切 平成11年11月26日(金)
照会先 秋山康吉(三菱電機)
E-mail:akiyama@isl.melco.co.jp
Tel(0467)41-2088 Fax(0467)41-2137

*できるだけE-mailをお願いします。

◆音楽情報科学研究会

日 程 平成12年2月17日(木)・18日(金)
会 場 NTT武蔵野研究センター
発表申込締切 平成11年11月30日(火)
照会先 堀内靖雄(千葉大)
E-mail:hory@icsd4.tj.chiba-u.ac.jp
Tel(043)290-3300 Fax(043)290-3269

*できるだけE-mailをお願いします。
*日本音響学会(音楽音響研究会),電子情報通信学会(音声研究会)と共催。

◆コンピュータと教育研究会

日 程 平成12年2月18日(金)
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)
発表申込締切 平成11年11月30日(火)
照会先 澤田伸一(農工大)

E-mail:sawada@cc.tuat.ac.jp
Tel(042)388-7450 Fax(042)385-9747

◆グラフィクスとCAD研究会

日 程 平成12年2月25日(金)
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)
議 題 テーマ:ネットワークCGおよび一般
発表申込締切 平成11年11月30日(火)
照会先 山戸佐知男(日本無線)
E-mail:yamato@lab.jrc.co.jp
Tel(0422)45-9231 Fax(0422)45-9740

◆ゲーム情報学研究会

日 程 平成12年3月17日(金)
会 場 拓殖大学(東京都八王子市)
発表申込締切 平成11年12月20日(月)
照会先 松原 仁(電総研)
E-mail:matsubar@etl.go.jp Fax(0298)54-5918

◆情報システムと社会環境研究会

第73回研究会は「情報システム若手の会」として情報システムの開発,運用,活用ならびに関連した研究に携わる若手の方々(学生,若手企業人,若手研究者,および若手教育者など)の発表と討論を予定しております。一般発表のほかに基調講演も計画しております。また,研究会終了後に簡単な懇親会を予定しております。

テーマは自由ですが,情報システムの開発,利用などを通じて社会・組織とシステムの関わりが今後どうなっていくかに焦点を宛てた発表を歓迎いたします。

日 程 平成12年3月21日(火)
会 場 専修大学(生田キャンパス)
発表申込締切 平成11年12月7日(火)
照会先 村上浩司(NEC)
E-mail:murakami@fgsd.mt.nec.co.jp
Tel(03)3456-7643 Fax(03)3456-7578

※※※※※※※※※※※※※※※※

行事No.REN-99

「連続セミナー99」参加者募集
統一テーマ:ネットワーク社会フロンティアへの挑戦

昨年度は,グローバル化,多様化時代を支える情報システム構築のための最新技術動向と展望」というテーマで,主たる対象を中堅SEとした実務講座を開催し,多数の参加者から「情報処理学会ならではの内容」と好評を得ました。

本年度も引き続き,時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容と実務的な内容とをとりまぜて,より幅広い層を対象に有益な情報,知識獲得の場として,以下の連続セミナーを開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

統一テーマの主旨

デジタル化ネットワーク化が進展し,21世紀初頭には本格的なネットワーク社会が訪れる。そのキラーアプリケーションについてはいまだ不明で,本命の登場が期待されている。

そこで,今回のセミナーでは,ネットワーク社会を構成するホーム系,モバイル系のネットワーク・アプリケーション最前線の動きと,それを支えるコア技術を第一線の起業家や研究者から紹介していただき,情報処理技術の今後の発展方向を展望する。

各回テーマ

第1回「ウェアラブルコンピューター」終了
ーコンピュータを身にまとい新しいコミュニケーションを始めようー
コーディネータ:広瀬通孝(東大)
第2回「皆が発信するメガチャンネル時代」終了

インターネットAVサービスとMPEG4, MPEG7の全貌

コーディネータ：安田 浩 (東大)

第3回「車社会とモバイルコンピューティング」終了

ITS/IMT2000/MMAC技術による新展開を見通す

コーディネータ：中村 眞 (シャープ)

第4回「放送が変わる、インターネットによるデータ配信」

HTMLからXMLへ コーディネータ：田中克己 (神戸大)

はじめに [10:00~10:30] 田中 克己 (神戸大学)

セッション1 [10:30~11:30]

「デジタルテレビとデータ放送」 宮部 義幸 (松下電器)

セッション2 [11:30~12:30]

「デジタル放送と放送業界の動向 (仮題)」

久保木準一 (フジテレビ)

セッション3 [13:30~14:30]

「放送とデータベース (仮題)」 角谷和俊 (神戸大)

セッション4 [14:30~15:30]

「携帯電話によるWebアクセスと動画配信 (仮題)」

石垣昭一郎 (NTT Docomo)

パネル討論 [15:45~17:00] 司会：田中克己 (神戸大学)

パネリスト：宮部義幸 (松下電器)

久保木準一 (フジテレビ), 角谷和俊 (神戸大)

石垣昭一郎 (NTT Docomo)

第5回「ネットワーク社会の犯罪防止とプライバシーの保護」

コーディネータ：山口 英 (奈良先端大)

第6回「安心ホームヘルスケア/バーチャルホスピタル」

高齢化社会の活力維持を目指して未病状態からのケアが始まる

コーディネータ：石川 哲 (北里大)

開催日時いずれも10:00~17:00

第1回 平成11年 7月 7日 (水) 終了

第2回 平成11年 9月20日 (月) 終了

第3回 平成11年10月29日 (金) 終了

第4回 平成11年11月26日 (金)

第5回 平成12年 1月21日 (金)

第6回 平成12年 3月 7日 (火)

会場 工学院大学 312教室 (東京都新宿区)

参加費 (消費税込)

申込区分	6回分	3回分	1回分
本会正会員	84,000円	63,000円	28,000円
非会員	105,000円	78,750円	35,000円
学生	12,600円	9,450円	4,200円

※3回分もしくは1回分を希望される方は、必ず参加希望の回を「行事申込書」の通信欄にご記入ください。

定員 250名

申込締切 定員になり次第

申込方法 本号会告の行事申込書に必要事項をご記入のうえ下記申込先までお送りください。ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp>) からの申込みもできますのでご利用ください。

申込/照会先 情報処理学会 事業サービス部門

*本セミナーに関する最新情報は、逐次会誌「情報処理」、学会ホームページに掲載いたします。

※+※+※+※+※+※+※+※+※+※+

行事No.S-OS99

「コンピュータシステム・シンポジウム」

参加者募集

ーコンピュータシステムの新しい応用と

その基盤ソフトウェアー

本シンポジウムでは、次世代のシステムアーキテクチャとその実現手法を議論してまいりました。近年、新しいコンピューティングの概念、たとえば、ウェアラブルコンピューティング、モ

バイルコンピューティング、ユビキタスコンピューティングなどが提唱され、情報家電やITSなどでその概念が注目されています。また、アドホックネットワーク、アクティブネットワーク、ワイヤレスネットワークなどの次世代ネットワークに向けた研究が進んでおりますが、概念の実現に向けてその基盤となるシステムソフトウェアはより重要な役割を担っています。

今回は「コンピュータシステムの新しい応用と基盤ソフトウェア」をテーマに選びました。21世紀に向けてのコンピュータシステム研究開発の動機となる新しい応用と、その応用を支える基盤技術となるOS、言語処理系、ネットワーク、ウィンドウシステム、実時間処理について論じ、その相互関係を議論したいと考えております。

コンピュータシステムの研究・開発活動が進展し活性化するように、多数の方々のご参加をお待ちしております。

日時 平成11年11月29日 (月) 9:00~17:00

30日 (火) 10:00~16:40

会場 工学院大学 (東京都新宿区)

*参加申込みの方には詳細を後日送付。

主催 情報処理学会 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

参加費 会員：17,000円、登録会員：16,000円、

学生：5,000円、非会員：20,000円 (いずれも論文集代込)

論文集のみ 5,000円 (送料、消費税込)

申込方法 本号会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申し込みください。

申込締切 平成11年11月17日 (水)

申込/照会先 情報処理学会 調査研究担当 (シンポジウム係)

*プログラムおよび会場の詳細などは、研究会HPに掲載しますので参照ください。 (<http://www.ht.sfc.keio.ac.jp/SIGOS/>)

*29日のシンポジウム終了後に懇親会を開催いたします。

一般：4,000円、学生：3,000円 (会費は当日払いのみ)

プログラム

11月29日 (月)

○ [9:00~9:05] 開会の辞

● [9:05~10:00] 招待講演 (1)

(1) e-Businessを可能にする最新技術：XMLとセキュリティの動向 丸山 宏 (日本IBM)

● [10:30~12:20] セッション1：リアルタイム

(2) Earliest Projected Deadline First (EPDF) アルゴリズム 今井和彦 (宮城県産業技術総合センター)

安田吉幸, 高田広章 (豊橋技科大)

(3) リアルタイム計算のための物理アドレスキャッシュ予約技法 光澤 敦 (NTT)

(4) リアルタイムストリームを扱う階層ストレージのデータ転送制御方式 矢尾 浩, 金井達徳, 矢野浩邦 (東芝)

(5) Tenderにおける資源「演算」の獲得によるサービス処理時間の保証 田端利宏, 谷口秀夫 (九大)

● [13:30~15:00] セッション2：ユビキタスコンピューティング

(6) ウェアラブルコンピュータにおけるミッション機構

岩本健嗣, 西尾信彦, 徳田英幸 (慶大)

(7) 柔軟性の高い情報家電のためのソフトウェアアーキテクチャ 会津宏幸 (北陸先端大), 中島達夫 (早大)

(8) 適応的ディレクトリサービスにおけるステート管理方法 永田智大, 西尾信彦, 徳田英幸 (慶大)

● [15:10~16:00] チュートリアル

(9) 情報家電の最近の動向 齊藤 健 (東芝)

● [16:10~17:00] 招待講演 (2)

(10) PlayStation2とオペレーティングシステム

豊 禎治, 鈴置雅一 (ソニー)

○ [17:30~19:30] 懇親会

11月30日 (火)

● [10:00~11:40] セッション3：WWWとエージェント

- (11) 移動計算機環境における情報発信システム及び情報発信のためのToolkitについて
田頭茂明, 最所圭三, 福田 晃 (奈良先端大)
- (12) 動的双方向変換技術に基づいた異機種オブジェクトモビリティの実現法
松原克弥, 板橋一正, 森山 豊, 染谷祐一 (筑波大)
加藤和彦 (筑波大/科学技術振興事業団)
関口龍郎, 米澤明憲 (東大)
- (13) 製造ライン管理における進化型エージェントモデルの提案
上拾石弘, 横井茂樹, 安田孝美 (名大)
- (14) Evaluation of Process Scheduling Policy for a WWW Server based on Its Contents
Sukanya Suranauwarat, Hideo Taniguchi (九大)
- [13:00~14:30] セッション4: システム構成法
- (15) アクティブネットワーク技術を用いた多重名前空間の実現法
東村邦彦, 松原克弥 (筑波大)
加藤和彦 (筑波大/科学技術振興事業団)
- (16) 組込みシステムにおける割込み処理の生成システムについて
砂川克志, 最所圭三, 福田 晃 (奈良先端大)
- (17) 実行中プログラム部分入替え法における入替え処理速度の高速化
中島雷太, 谷口秀夫 (九大)
- (18) デバイスドライバ生成システムにおける入力改良
奥野幹也, 片山徹郎, 最所圭三, 福田 晃 (奈良先端大)
- [15:00~16:40] セッション5: 並列システム
- (19) 並列マシンCenju-4上のギャングスケジューリング
荒木宏之, 立川江介, 加納 健, 中田登志之 (NEC)
- (20) Dynamic GatewayによるWWWサーバ負荷分散の定量的評価
川田容子, 岩崎正明, 中原雅彦
竹内 理, 中野隆裕 (日立)
- (21) Tender オペレーティングシステムにおける分散共有メモリの実現と評価
下崎 誠, 谷口秀夫 (九大)
- (22) IEEE1394を用いたPCクラスタシステムの設計
兵頭和樹, 佐藤 喬, 中山泰一 (電通大)

※※※※※※※※※※※※※※※※

行事No.S-AVM99

「次世代ディジタルTVシンポジウム」

参加者募集

—データ放送—

2000年サービス開始のBSディジタルTV放送では、データ放送による番組のマルチメディア化、特に双方向通信が大きな特長となり、さまざまなアプリケーションが現在検討されています。このデータ放送は、まさしく放送と通信を融合させる架け橋となるメディアであり、XMLなどマルチメディアの最新技術が導入されています。そこで、次世代メディアの核となるこのデータ放送について、最新技術と内・外の動向を第一線で活躍されている専門家に解説していただき、本学会のこの分野の研究開発の発展に資することを目的として当シンポジウムを開催します。

- 日 時 平成11年12月1日 (水) 10:00~17:00
- 会 場 早稲田大学 理工学部
- *参加申込の方には後日詳細を送付。
- 主 催 情報処理学会 オーディオビジュアル複合情報処理研究会
- 協 賛 DAVIC活動推進委員会, 電子情報通信学会 (画像工学研究会), IEEE東京支部 (BTグループ)
- 参 加 費 会員 (含協賛団体会員*) : 10,000円 学生 : 2,000円 非会員 : 15,000円 (いずれも論文集代込)
- *協賛団体会員の方はお申し込みの際に団体名会員番号を明記ください。
- 申込方法 本学会会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申し込みください。
- 参加申込締切 平成11年11月19日 (金)

申込/照会先 情報処理学会 調査研究担当 (シンポジウム係)

プログラム

- [10:00~11:00]
(1) マルチメディア放送の現状と将来 加井謙二郎 (NHK)
- [11:00~12:00]
(2) 海外におけるデータ放送の動向
川手雅之 (マイクロソフト)
- [13:00~14:00]
(3) データ放送のためのBML方式 下地達也 (松下電器)
- [14:00~15:00]
(4) CSにおけるデータ放送方式 北里直久 (ソニー)
- [15:00~16:00]
(5) データ放送におけるオーサリング環境
目々澤健治 (NTTソフトウェア)
- [16:00~17:00]
(6) データ放送の実際 講師依頼中

※※※※※※※※※※※※※※※※

「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」
参加者募集

本研究会では、分散システム、マルチメディア通信、通信処理技術、インターネット等の研究分野について、活発な研究発表が行われております。これらの研究について、通常の研究会ではできない深い議論を行うため、1992年度より合宿形式の本ワークショップを開催してまいりました。これまで皆様のご協力により、湯布院 (1992年)、蔵王 (1993年)、飯坂 (1994年)、伊勢志摩 (1995年)、八幡平 (1996年)、会津 (1998年) で開催し、多くの方の参加をいただき、充実した議論によって多くの成果を得ることができました。昨年11月に開催いたしました会津でのワークショップは、ICPP国際会議 (International Conference on Parallel Processing) のプロモーションを兼ねて開催され、多くの優秀な論文について活発な議論が行われました。本年は、2001年1月に開催予定のICOIN国際会議 (International Conference on Information Networking) のプロモーションを兼ねて、別府を会場として開催することといたしました。

今年のワークショップでは、論文発表に加え、本研究会の歴代の主査によるパネルディスカッションも行う予定です。研究活動の活性化、および将来の研究の方向を探るために、このワークショップに皆様奮ってご参加ください。日時と会場は以下の通りです。

- 日 時 平成11年12月1日 (水) 13:30~20:15
2日 (木) 8:45~17:45
3日 (金) 8:45~12:30
- 会 場 鶴見園グランドホテル
[別府市南立石2141-7. Tel(0977)22-6171 Fax(0977)22-8590]
- 主 催 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会

- 参 加 費 (宿泊費を含む)
- 先行受付 (10月29日まで) : 登録会員30,000円
会員35,000円 学生25,000円 非会員50,000円
当日受付 (10月29日以降) : 登録会員35,000円
会員40,000円 学生30,000円 非会員55,000円
- 申込方法 以下の参加申込の様式で必要事項を記入のうえ、申込先まで電子メールで送付ください。1週間以内に参加申込書の受け取りをお送りします。領収書は別途送付いたします。また、参加費を以下のワークショップ指定口座までお振込みください。なお、参加申込は定員 (80名) になり次第、締切らせていただきます。
- 第一勧業銀行 坂戸支店 普通1788673
情報処理学会DPS研究会 主査 滝沢 誠
- 照 会 先 アブドゥハン ベーナディ

九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
〒820-8502 飯塚市川津680-4
E-mail:bob@ai.kyutech.ac.jp
Tel(0948)29-7602 Fax(0948)29-7601

申込先 桧垣博章

東京電機大学 理工学部 情報システム工学科
〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂
E-mail:hig@takilab.k.dendai.ac.jp
Tel(0492)96-2911 (ext 2542) Fax(0492)96-6185

参加申込必要事項

氏名, 所属, 連絡先住所 (〒), Tel, Fax, E-mail,
情報処理学会会員番号, DPS研究会会員登録の有無,
参加費, 必要書類: 見積書 通/請求書 通/納品書 通,
性別, 喫煙の有無, 学生か否か

*詳しい情報, 最新の情報については, ワークショップのホームページ
(<http://www.takilab.k.dendai.ac.jp/dps/>) をご覧ください。

ワークショップ委員長 宇津宮孝一 (大分大)

プログラム委員長 アブドゥハン ベーナディ (九工大)

実行委員長 凍田和美 (大分県立芸術文化短大)

DPS研究会主査 滝沢 誠 (東京電機大)

プログラム委員 (五十音順) 岡田 誠 (富士通研), 勝本道
哲 (通信総研), 門林理恵子 (ATR), 木原民雄 (NTT), 串
田高幸 (日本IBM), 齊藤正史 (三菱電機), 櫻井紀彦 (NTT),
重野 寛 (慶大), 柴田義孝 (岩手県立大), 玉置政一 (NTT
データ), 塚本昌彦 (阪大), 程 子学 (会津大), 中村章人
(電総研), 橋本浩二 (岩手県立大), バロリ レオナルド (山
形大), 桧垣博章 (東京電機大), 東野輝夫 (阪大), 前野和
俊 (NEC), 宮部博史 (NTT)

プログラム

12月1日 (水)

○ [13:30~14:00] 開会式

● [14:15~15:55] セッション1: マルチメディア/ハイパー
メディアシステム

- (1) やわらかいマルチメディアシステムの設計
橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県立大), 白鳥則郎 (東北大)
- (2) 能動学習授業を柔軟に支援するマルチメディア・システム
の設計と評価 市村 洋, 鈴木雅人 (東工高専)
水野忠則 (静岡大)
- (3) 全天周映像ハイパーメディアの構造化と異形状空間のネット
ワーク共有 木原民雄, 大竹孝幸 (NTT)
- (4) マルチモーダル対話システムにおける複数モダリティの統合
と解釈に関する一検討
賀川経夫, 阿部慎也, 遠藤 勉 (大分大)

● [16:10~17:25] セッション2: 通信アーキテクチャ

- (5) マルチキャスト通信上で効率的な鍵配布方式に関する検討
朴 美娘, 岡崎直宣 (三菱電機)
井手口哲夫 (愛知県立大)
- (6) LAPIを用いたIBM SP2への分散共有メモリの実装と性能調
査 下野靖史, Bernady O. Apduhan
浅岡達也, 有田五次郎 (九工大)
- (7) 時間制約と入出力データに関する条件判定が同時に記述でき
るオートマトンモデルとその双模倣等価性検証法
中田明夫 (広島市立大), 服部 哲 (奈良先端大)
東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

● [19:00~20:15] セッション3: プレゼンテーション・ツー
ル/システム

- (8) 動的な自然現象オブジェクトの対話的モデリング手法—打ち
上げ花火開発支援システムを題材に—
梶田泰行, 西野浩明 (大分大)
凍田和美 (大分県立芸術文化短大), 宇都宮孝一 (大分大)
- (9) 感性を考慮したデジタル伝統工芸プレゼンテーション
高坂幸春 (岩手県立大)
宮川明大 (石川県鶴浜町教育委員会)
橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県立大)

- (10) ネットワーク構成情報3次元表示システムの実現
吉田和幸, 松浦孝典, 長野 聡 (大分大)

12月2日 (木)

● [8:45~10:30] セッション4: プロトコル

- (11) アドホックネットワークのための蓄積型フラッディングプ
ロトコルの提案
萩野浩明, 原 隆浩, 塚本昌彦, 西尾章治郎 (阪大)
- (12) 広域疎結合分散システムのためのデータ配信機構の設計
井澤志充, 三輪信介, 篠田陽一 (北陸先端大)
- (13) Asynchronous Recovery Protocol in Distributed Object-
Based Systems Katsuya Tanaka
Hiroaki Higaki, Makoto Takizawa (東京電機大)
- (14) UDPを利用したDSE向けプロトコルの設計と実装
手塚忠則 (松下電器/九工大), 末吉敏則 (熊本大)
有田五次郎 (九工大)

● [10:45~12:00] セッション5: 分散データベース/グルー
プウェア

- (15) 協調検索エンジンにおけるクエリ最適化
上原 稔, 山本 崇, 佐藤永欣
西田喜裕, 森 秀樹 (東洋大)
- (16) 協調サーチエンジンにおけるtf.idf法に基づく分散スコア
リング 佐藤永欣, 山本 崇
西田喜裕, 上原 稔, 森 秀樹 (東洋大)
- (17) ワークフローシステムの導入がもたらす業務プロセスの変
化の分析 片岡信弘 (三菱電機)

● [13:00~14:15] セッション6: 遠隔教育システム

- (18) データの連動サービスを含む遠隔教育システム
池端裕子, 植原常宣, 重野 寛, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)
- (19) Flexible Multimedia Lecture Supporting System based
on Extended Virtual Reality Space

Yukiharu Kohsaka, Koji Hashimoto (岩手県立大)

Michiaki Katsumoto (通信総研)

Yoshitaka Shibata (岩手県立大)

(20) Individualized Course on Demand Based on Knowledge
Base Haihong Cheng, Z. Cheng, S. Noguchi (会津大)

● [14:30~15:45] セッション7: 分散オブジェクト

- (21) Role-Based Purpose-oriented Access Control for Object-
Oriented Systems Tsunetake Ishida
Hiroaki Higaki, Makoto Takizawa (東京電機大)
- (22) ソースコード変換を用いた新たな分散オブジェクトアーキ
テクチャの提案

小田謙太郎, 和田智仁, 吉田隆一 (九工大)

(23) Checkpoint and Recovery in Large-scale Mobile Sys-
tems Hiroaki Higaki

Katsuya Tanaka, Makoto Takizawa (東京電機大)

● [16:15~17:45] パネル ディスカッション: 21世紀のDPS
について 司会: 滝沢 誠 (東京電機大)

パネリスト (五十音順): 有田五次郎 (九工大)

勅使河原可海 (創価大), 戸田 巖 (富士通研)

野口正一 (会津大), 松下 温 (慶大), 水野忠則 (静岡大)

宮部博史 (NTT), 山崎晴明 (山梨大)

○ [18:30~20:30] 懇親会

12月3日 (金)

● [8:45~10:30] セッション8: ネットワークトラフィック

- (24) 挟帯域リンク上でのトラフィック制御に関する検討
鶴久康治, 岡村耕二, 後藤幸功, 荒木啓二郎 (九大)
- (25) インターネットトラフィックによる組織間アクティビティ
の解析方式 串田高幸 (日本IBM)
- (26) A Fuzzy Scheme for Routing of Tagged Cells in ATM
Networks Leonard Barolli (山形大)
Akio Koyama (会津大)
Takako Yamada, Shoichi Yokoyama (山形大)
- (27) Implementation of Video Transfer System with Conges-
tion Control based on Two Level Rate Control

Teruyuki Hasegawa, Toru Hasegawa
Toshihiko Kato (KDD)

- [10:45~12:00] セッション9: エージェント/無線通信
- (28) QoSオントロジーに基づくエージェント指向ネットワーク制御方式 上野義人 (創価大)
- (29) 知的エージェントを用いた研究活動支援システムの提案 杉浦茂樹, 白鳥則郎 (東北大)
- (30) シミュレーションによる移動体通信の基地局配置の検討 山田孝子 (山形大), 高橋幸雄 (東工大)
Leonard Barolli (山形大)
- [12:00~12:30] 閉会式

※※※※※※※※※※※※※※※※

行事No.S-DBS99

[アドバンスト・データベース・シンポジウム'99]

参加者募集

ーデジタルビジネスと先端データベースー

21世紀の幕開けを間近に, 新しい応用技術 (Internet/Web/XML/VRML/Java, 携帯電話/Mobile-PC/GP等) の登場は人々の生活に大きな影響力を持つようになりました. 産業界では変化の波は単なる生産性の向上をもたらすばかりではなく, 多様なデジタル技術を駆使したニュービジネス, すなわちデジタルビジネスを次々と誕生させています. このように, 近年更に多様化し, 加速されるデータベースの高度応用技術の流れを踏まえ, 「デジタルビジネスと先端データベース」をテーマとして設定し, 次世代のビジネス環境におけるデータベース技術ビジョンを議論・策定することを目的とし, 本シンポジウムを開催します.

どうぞ奮ってご参加ください.

- 日時 平成11年12月6日(月) 9:30~17:50
7日(火) 9:30~17:00
- 会場 オリピック記念青少年総合センター センター棟
会議室501 (東京都渋谷区)
*参加申込の方には詳細を後日送付.
- 主催 情報処理学会 データベースシステム研究会
協賛 電子情報通信学会 (データ工学研究専門委員会),
ACM SIGMOD JAPAN
- 参加費 会員 (含:協賛団体): 25,000円
登録会員: 19,000円 学生: 7,000円 非会員: 29,000円
(いずれも論文集代込)
- 論文集のみ 12,000円 (送料, 消費税込)
- 申込方法 本号会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申し込みください.

- 申込締切 平成11年11月22日(月)
- 申込先 情報処理学会 調査研究担当 (シンポジウム係)
- 照会先 清木 康 (慶大) E-mail:kiyoki@sfc.keio.ac.jp
(またはmasakok@sfc.keio.ac.jp)
遠山元道 (慶大) E-mail:toyama@ics.keio.ac.jp
河野浩之 (京大) E-mail:kawano@i.kyoto-u.ac.jp

プログラム

12月6日(月)

- [9:30~10:00] 基調講演
- (1) 21Cネットワーク・マルチメディア社会におけるデータベースの役割 清木 康 (慶大)
- [10:00~11:00] 招待講演1
- (2) データベースとWebプレゼンテーション 手嶋雅夫 (マクロメディア)
- [11:00~12:00] 招待講演2
- (3) インターネットコンピューティングとOracle8iの実装技術 佐藤聡俊 (日本オラクル)
- [13:00~15:00] 第1会場: 画像・映像データベース

- (4) 大量画像の閲覧を容易にする画像目録システム 佐藤路恵, 申間和彦, 赤間浩樹, 山室雅司 (NTT)
- (5) ビデオ検索モデルとしてのGlue演算における効率化可能フィルタについて 十河孝至 (神戸大), プラダンスジツト (倉敷芸術大)
田島敬史, 田中克己 (神戸大)
- (6) ビデオ・ブラウジングのための確率モデルに基づく概略生成手法 牛尾剛聡 (九州芸工大), 渡邊豊英 (名大)
- (7) 映像情報に対する抽象度の高い用語による検索手法 橋本隆子, 白田由香利, 真野博子, 飯沢篤志 (リコー)

● [13:00~15:00] 第2会場: データモデルとDBMS

- (8) 現実的な電子商取り引きに適した時間および位置制約のあるデータベース 上林弥彦, 垂水浩幸, 森下 健 (京大)
- (9) メタ質問の最適化 松本 渉, 三浦孝夫 (法政大)
- (10) 半構造データモデルによる画像処理履歴の管理 田幡 勝, 有次正義, 金森吉成 (群馬大)

● [15:10~16:10] 招待講演3

- (11) 画像・映像コンテンツとメタデータの技術動向ー特にDIG35, MPEG7動向について 河村尚登 (キヤノン)

● [16:20~17:50] 海外招待講演

- (12) Incremental Refreshment of Data Warehouses: The SIR-IUS Approach Prof. Dr. Klaus R. Dittrich (University of Zurich)
- (13) Multiple representations and multiple resolutions in geographic databases Christine Parent (University of Lausanne)
Stefano Spaccapietra (EPFL)
- (14) Structured Documents: from publishing to information management Christine Vanoirbeek (EPFL)

12月7日(火)

● [9:30~11:00] 第1会場: Webと構造化文書

- (15) Webリンクの巡行に基づく動的なリンクの活性化とアクセス管理 清光英成, 田中克己 (神戸大)
- (16) 変換規則と記述内容処理関数に基づく構造化文書操作記述方式 品川徳秀, 北川博之, 石川佳治 (筑波大)
- (17) アクセス権付き構造化文書の効率的検索法の提案 森本考弘, 波多野賢治, 吉川正俊
渡邊正裕, 植村俊亮 (奈良先端大)

● [9:30~11:00] 第2会場: データマイニングとOLAP

- (18) 鮮度と同期度に基づく周期データの選択方式 宗像浩一, 吉川正俊, 植村俊亮 (奈良先端大)
- (19) 大規模データベースからの構造化相関パターンの抽出 松澤裕史, 福田剛志 (日本IBM)
- (20) 多次元データベースにおける集約可能条件 石井 拓, 上林弥彦 (京大)

● [11:00~11:50] 第1会場: チュートリアル1

- (21) デジタルテレビにおけるデータ放送方式 岡村和男 (松下電器)

● [11:00~11:50] 第2会場: チュートリアル2

- (22) 地図情報システムJaMaPSとXML (仮題) 高木 悟 (KDD研)

● [13:00~14:00] 招待講演4

- (23) デジタルビジネスとそれを支える情報技術 岩野和生 (日本IBM)

● [14:00~15:00] 招待講演5

- (24) 地理情報のメタデータ: G-XML (仮題) 有川正俊 (東大)

● [15:10~17:00] パネルセッション

- (25) デジタルビジネスと先端データベース (仮題) (パネリスト未定)

行事No.S-IM99

「情報メディアシンポジウム99」
参加者募集
～サイバースペースにおける
文化的・社会的コミュニティの実験～

本研究会主催のシンポジウムは、先駆的な問題意識の提起を通して参加者自身が新しい発見をする場を提供する目的で研究会発足以来毎年開催され好評を博しております。

今年は、サイバースペースにおける文化的・社会的コミュニティの実験というテーマでシンポジウムを開催する企画を準備しています。インターネットの爆発的な普及とデジタルメディア技術の進展により、サイバースペース上に新しい市場が形成されてきています。それ以上に、着目されつつ動きは、サイバースペースをベースにした新しいコミュニティの社会的・文化的な実験です。こうした先駆的なプロジェクトが各地でさまざまな問題意識を投影した形で展開されています。こうした観点からの問題提起と議論の場として先駆的な問題意識をお持ちの方々との協力を得てトランスデスプリナリでかつ面白いシンポジウムを企画しました。

キーワードとしては、デジタルシティ、地域コミュニティとネットワーク、NPOとネットワークコミュニティ、1マイルコミュニティ、コミュニティを創る活動、ネットワークコミュニティの特性とその生態、知識コミュニティ、ボランティア情報経済・制度、など。

このようなサイバーコミュニティにご関心の方は奮って参加をお願いいたします。

日 時 平成11年12月10日(金) 10:00～17:30
(受付開始9:30)

会 場 工学院大学 0312教室 (東京都新宿区)

*参加申込の方には後日詳細を送付。

主 催 情報処理学会情報メディア研究会

参 加 費 会員:8,000円(通常通り:希望により請求書・領収書発行) 会員:7,000円(請求書なし。学会指定郵便振替払込用紙による送金。払込票をもって領収書に代える) 学生:3,000円 非会員:10,000円(いずれも論文集込み)

論文集のみ 3,000円(送料、消費税込み)

申込方法 本号会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申し込みください。

参加申込締切 平成11年11月26日(金)

申込/照会先 情報処理学会 調査研究担当(シンポジウム係)

プログラム

- [10:00～11:00] 基調講演
 - (1) Synsophyプロジェクト:知識創造コミュニティ支援への実際のアプローチ 西田豊明(東大)
 - [11:00～12:20] CCCIの活動と先駆的コミュニティ実験
 - (2) CCCIの活動とサイバー社会基盤について 宮下英雄(野村総研)
 - (3) CTHH緑園都市コミュニティインターネットプロジェクト 志村近史(野村総研)
 - [13:10～15:10] コミュニティ実験の様々なアスペクトー
 - (4) メーリングリストを利用した知識の階層化実験 岡林みどり(ポーラ文化研究所)
 - (5) 地域再活性化のための、情報ネットワーク～地縁とボーダレスの融合～ 柳田公市(ケイワン/SVJ)
 - (6) インターネットライブハウスにおけるヴァーチャライズド・リアリティの実現 苔米地英人(コグニティブ・リサーチ・ラボラトリーズ)
 - [15:30～17:30] 京都デジタルシティプロジェクト
 - (7) デジタルシティで市民と街を繋ぐ 寺野隆雄(筑波大)
 - (8) デジタルシティにおけるライブ情報(仮題) 宮崎泰彦(NTT)

「第41回プログラミング・シンポジウム」
参加者募集

プログラミング・シンポジウムは通常のシンポジウムとは異なり、自由な雰囲気の中で計算機の無限の可能性を開拓していく「夢のシンポジウム」を目指したものです。1960年に第1回目が開催されて以来、これまでに将来を展望したプログラミング技術などに関して、毎年活発な討論が行われ、その中から数多くの斬新なアイデアが生まれてきました。

1. 学術論文発表の場というより、多方面の人々の共通の討論の場であり、意見交換の場であると考えています(ポスター発表およびデモンストレーションなどの場所を用意し、夕食後にも、自由討論の場を用意します)。

2. 情報処理の発展のために、多数の方々に参加され、活発に発言されることを期待します。

本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、また、これに強い関心を持ち積極的に勉強されている若い方々で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある」方々の参加を希望します。

日 程 平成12年1月11日(火) 11:00 受付開始
13:00 開会
～13日(木) 12:00 閉会

会 場 箱根ホテル小涌園
[神奈川県足柄下郡箱根町二の平1297. Tel(0460)2-4111]

交 通
路線バス:小田原駅表口<箱根町行き>～小涌園前,約40分。
箱根湯本駅<箱根町行き>～小涌園前,約30分。
タクシー:小田原駅表口～会場,約30分。
箱根湯本駅～会場,約20分。

参 加 費 参加費は申込書をご覧ください(参加費には予稿集代、宿泊費、食費、消費税を含みます)。

申込方法 郵送、E-mail、学会のホームページのいずれかの方法で申し込んでください。書式は本号会告の専用申込書に準じてください。

申込締切 平成11年11月26日(金)

照会/申込先 情報処理学会 事業サービス部門

E-mail:prosym@ipsj.or.jp(受領メールを返信します)

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

http://www.ipsj.or.jp/sympo/prosym.html

*参加申込後やむを得ず参加を取り消される場合は平成11年12月10日(金)までに連絡をお願いします。取り消しの連絡のない場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めず。

*発表者の方も参加申し込みが必要です。

*会場、宿泊施設の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

*開催期間中の途中での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

プログラム

第1日 1月11日(火)

ガイダンス、開会の辞 [13:00～13:30]

セッション1 [13:30～14:50]

座長:未定

●回収率に基づきヒープサイズを動的に変更する世代GC方式

吉川隆英, 近山 隆(東大)

●検証系を用いたアルゴリズムの発見

萩谷昌己(東大)

一休憩 [14:50～15:10]

セッション2 [15:10～16:30] 座長:楠 房子(多摩美大)

●PSYCHE:楽曲分析とその応用を中心として

劉 劍利, 小池宏幸, 水谷哲也, 塩 雅之(筑波大)

平賀瑠美, 五十嵐滋(筑波技術短大)

- 手書きスケッチによるモデリングシステムTeddy
五十嵐健夫, 田中英彦 (東大), 松岡 聡 (東工大)
- ポスターの紹介 [16:30~17:00]
- 表彰 [17:00~17:10] 山内記念賞 (石畑 清)
- ポスターセッション [17:10~18:00]
- ー夕食 [18:00~19:00] ー
- 夜のセッション [19:00~21:00]
- 自由討論 [21:00~]

第2日 1月12日 (水)

- ー朝食 [7:00~9:00] ー
- セッション3 [9:00~10:20] 座長: 未定
- 列車運行情報の可視化
斎藤隆文 (農工大), 飯野 昭 (住鉄情報システム)
- 状況情報を利用した外国語学習支援
明関賢太郎, 安村通晃 (慶大), 西村則久 (岩国市役所)
- ー休憩 [10:20~10:40] ー
- セッション4 [10:40~12:00] 座長: 太田昌孝 (東工大)
- カーネル拡張のための効率的な開発環境
鈴鹿倫之, 中村嘉志, 多田好克 (電通大)
- 軽量プロセス・ライブラリ Lesser Bear: スケジューラの並列化
小熊 寿, 中山泰一 (電通大)
- ー昼食 [12:00~13:10] ー
- 招待講演 [13:10~14:20]
- 情報化時代における科学と芸術の新しい共創関係について
坂根巖夫 (国際情報科学芸術アカデミー)
- 報告 [14:20~14:50]
夏のシンポジウム (萩谷昌己), 若手の会 (山口文彦)
GPCC (飯田弘之)
- ー休憩 [14:50~15:10] ー
- セッション5 [15:10~17:10] 座長: 山崎憲一 (NTT)
- ワークプロセス記述言語とコミュニケーション場のマネジメントシステムWorkEnsemble
林 祥一, 鷹合基行 (富士ゼロックス)
- Java in Real WorldーJavaはどこまで使える言語か
前田敦司, 山内 斉 (電通大)
- 逆ポインタを持つcons 原田康徳 (さががけ21)
- ポスターセッション [17:10~18:00]
- ー夕食 [18:00~19:00] ー
- 夜のセッション [19:00~21:00]
- 自由討論 [21:00~]

第3日 1月13日 (木)

- ー朝食 [7:00~9:00] ー
- セッション6 [9:00~10:20] 座長: 未定
- 高速Java実行環境JeanPaulの開発 千葉雄司 (日立)
- SuperFLDー究極のコードを求めて 藤波順久 (ソニー)
- ー休憩 [10:20~10:40] ー
- セッション7 [10:40~12:00] 座長: 天海良治 (NTT)
- 日本語の技術文書における技術用語に着目したダイナミックプログラムでの検索方法 山本英子, 梅村恭司 (豊橋技科大)
- 日本語参考文献データベース構築システム
三平善郎, 山本喜一 (慶大)
- 閉会の辞 [12:00~12:10]
- ポスター発表 [第1日~第3日]
- 情報要求 (キューエリー) の構造に着目した語の重み付け
大場信乃 (津田塾大)
- 並列組み合わせ最適化ライブラリPopkern
横山大作, 近山 隆 (東大)
- プログラム内部動作の可視化の試み
鈴木 透, 斎藤隆文 (農工大)
- 相互作用の促進を目指したグループ学習支援システム
楠 房子 (多摩美大), 杉本雅則 (東大)
橋爪宏達 (NACSIS)

※※※※※※※※※※※※※※※※

行事No.S-FI2000

[2000年情報学シンポジウム]

参加者募集

ーネットワーク型情報メディアの活用と情報を
活かす新技術ー

本シンポジウムは、ネットワーク化社会における情報の円滑な流通と高度な利用の促進を目的に、1984年以来毎年開催してまいりました。例年、研究・開発者と利用者が交流し、情報・知識の利用に関するアイデアや知見を交換する場として、多くの方々に参加いただいております。本年度も、以下の要領で開催いたしますので、奮ってご参加ください。

日 時 平成12年1月13日 (木)・14日 (金)
会 場 日本学会会議講堂 (東京都港区)

*参加申込の方には後日詳細を送付。

共同主催 日本学会会議 (情報学研究連絡委員会, 情報工学研究連絡委員会), 情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会, 情報知識学会, 日本生物物理学会, 日本ソフトウェア科学会

後 援 科学技術振興事業団, 化学情報協会, 学術情報センター, 計測自動制御学会, 情報科学技術協会, 情報通信学会, 電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本社会情報学会, 日本生化学会, 日本電信電話, 日本動物学会, 日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会

運営組織 情報処理学会情報学基礎研究会を母体とするシンポジウム実行委員会

参加費 (論文集代として) 共催学協会員: 10,000円 学生: 3,000円 非会員: 15,000円

*共催学協会員の方は、お申し込みの際に所属団体および会員番号を明記ください。

*当日出席できない方のために論文集 (郵送) の申込も受け付けています。

申込方法 本学会会欄または学会ホームページの行事申込書にてお申し込みください。

参加申込締切 平成11年12月24日 (金)

*当日受付も歓迎しますが、資料不足の際は事前登録者を優先します。

申込/照会先 情報処理学会 調査研究担当 (シンポジウム係)

トピックス

近年インターネットを始めとする情報ネットワーク網が急速に整備され、企業活動から日常生活にいたるまで幅広く利用されるようになってきた。一方、情報を分かりやすく提示する情報可視化技術や大量の情報から有用な情報を引き出す知識発見・情報抽出などの技術も盛んに研究されてきている。これらの技術はまだ広く用いられるには至っていないが、その1つの要因は、技術の研究者が現実のニーズを把握しきれていないこと、また、利用可能な技術の情報が利用者やシステム設計者に届いていないことにあると考えられる。そこで、今回のシンポジウムでは、情報の有効利用に関わるトピックを、情報処理・知識処理などの技術的側面から、あるいは社会科学的・教育的な側面等から取り組んだ講演を幅広く集め、システムの運用に基づく問題提起なども含め議論する。中心とするトピックは以下の通りである。

- (1) 情報の活用を支援する技術
知識発見, 情報抽出, 加工, 分類・体系化, 情報の可視化, 情報検索・フィルタリング, エージェントなど
- (2) ネットワーク型情報メディアを活用したシステムおよび運用事例
医療・福祉, 教育, 電子図書館, 行政, サービス, 電子商取引, ナレッジマネジメント, 情報共有, グループウェアなど
- (3) ネットワーク化社会を支える社会制度・環境の整備

著作権、セキュリティ、情報リテラシーの教育など

プログラム概要

◆基調講演:

ネットワーク型情報メディアとネット・ジェネレーション
ーモバイルとウェアラブルー 石井威望 (東大)

◆招待講演:

- 情報検索・抽出技術の評価を巡る諸問題ー第1回のNTCIR/
IREXを終えてー 井佐原均 (通信総研)
- 医療の情報化とネットワーク化 大江和彦 (東大病院)
- 知識ネットワーク社会における知識創造支援
西田豊明 (東大)
- 個人・小規模事業者の効率的なインターネット情報発信
橋本大也 (アクセス向上委員会)
- 情報通信技術の発展と法のゆらぎー「情報法」の成立ー
浜田純一 (東大)
- サイバーのクモの子らはバーチャルに巣籠もることができる
かー次世代にとってのネットワーク型メディアー
福村晃夫 (中京大)
- 情報視覚化の研究動向 増井俊之 (ソニーCSL)

◆一般講演: 一般講演のプログラムは、次号(12月号)本欄に掲載します。

*講演内容に関しては変更になる場合がありますのでご了承ください。

✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕✕

行事No.S-IS2000

「情報システムと社会環境シンポジウム」 参加者募集

ーY2Kを超えて転換期を迎えた情報システム環境ー

21世紀の開幕を間近に控え、情報システムの2000年問題が大きく取り上げられております。それは、情報システムの中で重要な位置を占める情報技術に基づいた情報処理システムの寿命や将来性に関する設計が十分でなかったことに起因しています。2000年問題ばかりでなく、今日の情報技術の目まぐるしい変化は、逆に情報技術自体の陳腐化を進めることとなり、新しい技術の登場が古い技術の価値を著しく下げることにもなっています。しかし重要なことは、本来の人間の社会的活動を情報システムがいかに実現しうるかにあり、それに情報技術ひいては情報処理システムがどう貢献できるかが重要な課題といえます。この課題に取り組むには、単に既製の企業組織の効率性や情報技術の側面からのみ情報システムをとらえるのではなく、人間の情

報活動の本質を中心に据えた情報文化としてのシステム設計と、技術的な開発面ばかりでなく人間と技術の双方のシステムの複雑な相互作用としてのシステム開発や管理などの視点が重要となります。

本シンポジウムでは、このような人間の文化的側面を持った情報システムが直面する課題を正面からとらえて議論するための、研究の枠組みや議論の基礎となる発表や討論を中心に据えます。そして折しも2000年を迎えたばかりの時点において、問題の再検討と対策の評価について議論すると共に、2000年以降の情報システムをめぐる諸環境について展望します。

日時 平成12年1月21日(金) 9:30~17:30
会場 東洋大学白山キャンパス2号館16Fスカイホール
*参加申込の方には詳細を後日送付。
主催 情報処理学会 情報システムと社会環境研究会
参加費 会員:4,000円 登録会員:3,000円
非会員:5,000円 学生:1,000円(いずれも論文集代込)
論文集のみ 3,000円(送料・消費税込)
懇親会費 2,000円
申込方法 本号会告欄または学会ホームページの行事申込書
にてお申し込みください。
申込締切 平成11年12月24日(金)
申込/照会先 情報処理学会 調査研究担当(シンポジウム係)

プログラム

- [9:30~9:40] 開会の辞 黒川恒雄 (國学院大)
- [9:40~10:50] セッションI
(1) 社会・組織と情報技術の相互作用をめぐると考察
砂田 薫 (東大)
中嶋聞多 (信州大)
- [11:00~12:10] セッションII
(3) 情報システム開発組織におけるナレッジマネジメントについて
阿部昭博 (岩手県立大)
- (4) 情報メディアとしてのマルチメディア教材導入効果に関する考察
内木哲也 (東洋大), 神沼靖子 (前橋工科大)
- [13:30~15:00] 基調講演
(5) 21世紀の人材教育に求められているもの
高橋延匡 (拓殖大)
- [15:15~17:20] パネル討論
(6) Y2Kを超えて転換期を迎えた情報システム環境
司会: 刀川 眞 (NTTデータ)
江崎禎英 (通産省), 小崎将昭 (新日鉄情報通信システム)
手島歩三 (ビジネスアーキテクト), 永田守男 (慶大)
- [17:20~17:30] 閉会の辞 魚田勝臣 (専修大)
- [17:30~19:30] 懇親会

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約80名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌部門 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534



ASP-DAC 2000 開催案内

Asia and South Pacific Design Automation Conference 2000

2000年1月25日(火)~28日(金) パシフィコ横浜・国際会議場

主催：情報処理学会, 電子情報通信学会, IEEE CAS Society, ACM SIGDA

<http://www.jesa.or.jp/ASPDAC/>

ASP-DAC は、VLSI とシステムの設計技術に関するアジア・南太平洋地区最大の国際会議で、1995年の第1回開催以来、今回で5回目を迎えます。また、国内最大の設計技術展示会である「EDA テクノフェア 2000」も同時に開催されます。多数の皆様の御参加をお待ちしております。1999年12月22日までに参加登録頂きますと、参加費が割引になります。参加登録は上記 WWW から行えます。

● 基調講演

- (1) 「シリコン・デバイス技術の将来」 浅井彰二郎 (日立製作所 常務 研究開発本部長)
- (2) 「研究, 設計, 製造—頭脳力, ツール力, 電力」 C. L. Liu (台湾 国立清華大学 学長)
- (3) 「GHz マイクロプロセッサ設計のチャレンジ」 William Herrick (コンパック Alpha 開発グループ)

● 特別セッション

- (1) [EDA vendor executive panel] Can we rely on EDA vendors for the next generation design technologies?
- (2) University LSI design contest
- (3) CAD for embedded systems
- (4) System-In-Package (SIP)
- (5) Timing closure: The solution and its problems
- (6) Future of system level design languages
- (7) Industry-academia cooperation
- (8) One Language or More? (How Can We Design an SoC at a System Level?)

● チュートリアル 全日チュートリアル 5 件, セッション組み込みチュートリアル 10 件

● 一般講演 90 件 (30 セッション)

● 学会事務局 日本エレクトロニクスショー協会 (加藤純美), 電話: 03-5402-7601, e-mail: aspdac@jesa.or.jp

会員募集中

お近くに情報処理に関心をお持ちの方で入会をご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp>) からの入会申込も可能です。

会員種別	入会金	年会費
正会員	¥2,000	¥9,600
学生会員	免除	¥4,800
賛助会員	-	1口 ¥50,000

★会員特典

- ・会誌「情報処理」の無料配付
- ・論文誌に投稿ができます
- ・各種行事への会員特価での参加
- ・本会編纂図書が会員特価で購入可
- ・正会員は学術情報センターの情報検索サービスが利用できます
- ・宿泊、レンタカー等の優待割引, 求人情報等の提供

★主な活動

- ・機関誌 (会誌, 論文誌) の発行
- ・全国大会 (2回/年), 連続セミナー, 産業フォーラムの開催
- ・調査・研究活動 (情報処理教育委員会, 研究発表会, シンポジウム等の開催)
- ・IFIP, SEARCCに加盟, IEEE, IEEE-CS, ACMと提携
- ・出版 (情報科学・工学関連分野の編纂)

社団法人 情報処理学会

Information Processing Society of Japan
 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
 E-mail:mem@ipsj.or.jp <http://www.ipsj.or.jp/>

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
(持参) JR山手・京浜東北線田町駅下車(芝浦口)、徒歩5分、
三和銀行右隣芝浦前川ビル7F
受付時間9:00~17:15

※※※※※※※※※※※※※※

情報処理学会第60回全国大会
大会メインテーマ：「21世紀への知恵一人にやさ
しい情報化社会の構築をめざして」
一般講演・学生セッション・デモセッション
講演募集

日程 平成12年3月14日(火)~16日(木)
会場 拓殖大学八王子キャンパス(東京都八王子市館町)
第60回全国大会は拓殖大学八王子キャンパスにて開催します。
プログラム委員長には、高橋延匡拓殖大学工学部長(本学会元
副会長)を迎え、一般講演・デモセッションに加えて、今回学生
セッションを設けました。皆様からのお申込みをお待ちしてあり
ます。
下記事項をご熟読の上、お申込みください。

A. 講演申込について

A-1. 講演資格 一般講演・デモセッション：資格不問
学生セッション：高専、大学学部・修士
(博士前期課程)在学者

A-2. 講演申込種別・講演時間(質疑含む)・論文頁
一般講演：講演時間15分 論文2頁
学生セッション：講演時間15分 論文2頁
デモセッション：講演時間1~3日(1日単位) 論文2頁
(論文提出自由)

A-3. 講演参加費および講演論文集

1. 会員とは、登壇発表者が、本学会(含む入会申請中)、電子
情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお
持ちの方です。講演締切後に、入会されても講演参加費の
金額変更はいたしませんのでご注意ください。
2. 講演申込締切後、会費のお支払状況等を含めて講演者申込
区分のチェックを行います。
3. 講演参加費には、講演料、本人論文の別刷り50部、全論文収
録のCD-ROMが含まれます(講演論文集は含まれません)。
4. 講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文
集1部に限り、予約販売をいたします。ご希望の方は、講演
申込書またはデモセッション申込書の講演論文集欄に希望
の旨を必ずご記入ください。
*無記入の場合には、希望しないものと判断させていただきます。
*申込後の変更は一切受け付けませんのでご注意ください。

- 一般講演：1件につき
正会員 9,450円 学生会員 5,250円
一般非会員 19,950円 学生非会員 9,450円
学生セッション：一般講演の学生会員、学生非会員と同額
デモセッション：デモセッションは、上記一般講演参加費で
1日デモを行います。従って、2日デモを行う場合には上記
講演参加費の2倍、3日ならば3倍の金額になります。
講演論文集：1部 3,000円(希望者のみ)

A-4. 主要日程

講演申込受付：平成11年11月15日(月)~12月3日(金)
講演申込締切：平成11年12月3日(金)
講演番号決定：平成11年12月10日(金)(プログラム編成)
執筆要項等発送：平成11年12月中旬(事前にHPに掲載)
講演原稿締切：平成12年1月14日(金)
講演論文集発行日：平成12年3月14日(火)

A-5. 講演申込先および照会先

(電子メール) E-mail:jigy@ipsj.or.jp
http://www.ipsj.or.jpをご参照ください。
(郵送) (社)情報処理学会 事業サービス部門
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20芝浦前川ビル7F

A-6. 大会プログラム

会誌2月号(平成12年2月15日発行)ならびに本学会ホーム
ページ(<http://www.ipsj.or.jp>)に掲載いたします。

A-7. 表彰

1. 全国大会で発表された方のうち、特に優秀な論文の登壇発
表者10名前後を大会優秀賞として表彰します。また大会奨
励賞として情報処理に関連する学術・技術の奨励のため、
学部卒10年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇
発表者10名前後を表彰します。
2. 大会優秀賞・大会奨励賞の対象者は、本学会個人会員に限
られます。

A-8. 申込方法

1. 本学会告掲載の「講演申込書」または「デモセッション申込書」
に必要事項を記入して郵送でお申込みください(Faxは不可)。
2. インターネットでのお申込みも可能です。この場合は、本
学会ホームページ(<http://www.ipsj.or.jp>)をご参照く
ださい。ただし、申込締切日当日は回線が混雑しますので、
余裕をもってお申込みください。
3. 連続講演または複数講演申込を希望する場合には内訳書を
添付(書式自由)し、その旨明記の上まとめて提出してく
ださい。この場合インターネットでの申込みは受けません。

A-9. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

A-10. 講演参加費の納入

講演参加費は、講演申込時持参、郵便・銀行振込または請
求書到着後大会会期当日までに必ず納入してください。
東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通預金 0003774
名義人：社団法人情報処理学会講習会
郵便振替 00150-4-83484
納入が遅れるが遅れる場合は、その旨お知らせください。
なお、講演参加費は、講演のキャンセルをされてもご納入い
ただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

A-11. 講演番号決定(プログラム編成)

一般講演、学生セッションは、プログラム編成WGで決定い
たします。
デモセッションは、デモ担当委員が決定いたします。
講演番号決定後は発表セッション等の変更はできません。論
文の該当分野キーワードは十分ご確認のうえご記入ください。

A-12. 講演番号通知および請求書

12月中旬に、講演番号・論文執筆要領・参加章引換券・学
術情報センター用データシート・請求書を発送します。

A-13. AV機器の使用

OHP(透過型)は全講演者に対し準備いたします。これ以
外の機器はお持ち込みください。

A-14. 講演者心得

1. 講演の始まる前に、大会総受付にて出席の確認を受け、参
加章および大会CD-ROMを受け取ってください。講演論文
は、発表会場にご自分の論文の別刷りを50部用意してありま
すので、各会場で受け取ってください。
2. 直前の講演者の講演時間中には、座長席後ろの講演者控え
席で待機してください。
3. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで

合図します。

- 講演の代理(代読)は認めません。
- 講演のキャンセルは、会期前は本学会事業サービス部門までFaxまたは電子メールにて、大会会期中は総受付(電話番号は追って会告します)まで口頭で、すみやかにご連絡ください。

B. 論文原稿について

B-1. 論文の提出

- 論文は日本語または英語で3部提出してください。
- 学術情報センター用データシートは記入要領に従い記入の上論文と一緒に提出してください。なお、データシートの著作権は学術情報センターと学会との共有です。
- 講演論文集ならびにそのCD-ROMに収録された論文の著作権は本学会に帰属します。
- 論文原稿提出後の訂正は一切取り扱いません。よく推敲して提出してください。
- 原稿の返却はいたしません。

B-2. 論文の採否

講演論文の採否は大会プログラム編成WGが決定します。採択しないものはたとえば次のような場合です。

- 倫理綱領に反するもの。
- 論文の内容が著しく不十分なもの。
- 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。
- 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
- 提出期限を過ぎたもの(期限厳守)。

B-3. 論文の別刷

50部作成して、発表会場にてお渡しいたします。

C. 学生セッションの概要

本セッションは、次世代の日本を支える学生の発表を産学共同で支援することを目的とし、今大会特別に設けました。卒業論文、修士論文中間発表、修士論文などの学内発表に加え、積極的に大会発表を通して教育・研究の向上を図る一助とします。なお、産業界の本学会会員より選出された委員によって審査の上、優秀な論文発表を表彰いたします。

D. デモセッションの概要

研究・開発テーマを、コンピュータを利用してその成果を発表する場です。インタラクティブに聴講者とテーマについて討論できます。また、研究・開発テーマに限らず新製品など世の中に広報する商業ベースのものにも利用できます。

D-1. 発表形式

デモは1件の申込みに対して1日単位で行えます。

D-2. デモセッションの開催日(予定)

下記の日程から選択となります。(複数日も可)

平成12年3月14日(火) 10:00~17:00

平成12年3月15日(水) 10:00~17:00

平成12年3月16日(木) 10:00~17:00

D-3. その他デモセッションにかかる費用

機器の搬入/搬出費、設置費、現地調整費、展示の装飾費等は申込者負担とします。

D-4. 学会が支援する設備

デモブース、電源、ネットワーク(10base/T)を予定しております。デモセッションを申し込まれる場合は所要の設備条件、スペース、レイアウト等(書式自由)を別途お送りください。不明点、詳細は照会先にご相談ください。

D-5. 注意事項

全国大会の現地環境、設備等の量的な制約がありますので、申込みをいただいても対応できない場合はご容赦願います。詳しい発表要領については、追って本大会現地実行委員会よりご連絡いたします。

E. 該当分野キーワード

E-1. 一般講演、学生セッション、デモセッションキーワード

講演申込書の該当分野キーワードの欄には、次のように記入してください。(該当分野キーワード参照)

例:アーキテクチャ(大項目)の設計自動化(中項目)のレイアウト合成(小項目)の場合は、「1-4-05」と書いてください。

1 アーキテクチャ

1 計算機アーキテクチャ

01計算機システムアーキテクチャ, 02アーキテクチャ全般(プロセッサ, 相互結合網, メモリ, 磁気ディスク, I/Oを含む), 03フォールトトレランス, リアルタイムシステム, 04ソフトウェアシステム(OS, コンパイラ, ツール)とのインタフェース, 05並列処理アーキテクチャ, 06並列処理ハードウェア, 07VLSIアーキテクチャ, 08専用プロセッサ(DSPなど), 99その他

2 システムソフトウェアとオペレーティングシステム

01システム性能評価, 02オペレーティングシステム全般(プロセス管理, メモリ管理, ファイルシステムを含む), 03OS構成法, 04並列/分散OS, 05ネットワーク実現技術, 06ネットワークプロトコル, 07サーバ実現技術, 08リアルタイムシステム, 09言語処理系, 10ネットワークセキュリティ, 11モバイルコンピューティング, 99その他

3 ハイパフォーマンスコンピューティング

01計算科学(数値計算), 02シミュレーションの理論と実際(モデル化, アルゴリズム, 品質保証), 03高速・高性能システム(超並列WS), 04利用技術/性能評価と提言, 05計算と計算機を結ぶ技術(可視化, 言語, データ配置, 最適化, デバッグツール等), 99その他

4 設計自動化

01設計自動化技術(集積回路, 装置システム等), 02エレクトロニクス用DA/CAD, 03HDL, 04論理合成, 05レイアウト合成, 06形式的検証, 07テスト, 99その他

2 ソフトウェア科学・工学

1 アルゴリズム

01グラフやネットワークに関するアルゴリズム, 02計算幾何学と計算代数学, 03暗号系や認証のアルゴリズム, 04確率アルゴリズムと近似アルゴリズム, 05分散・並列アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム, 06データ構造, 07オートマトン・計算複雑度理論, 08オンラインアルゴリズム, 09文字列処理, 10アルゴリズムの応用と実用, 99その他

2 数理モデル化と問題解決

01数理モデル化全般と解法, 02オペレーションズリサーチ, 03グラフ理論やネットワークフロー理論, 04逆問題, 05モデル化の教育, 06各種モデルの応用, 07定式化, 99その他

3 ソフトウェア工学

01要求定義, 設計手法, 02形式的仕様, 03開発管理, 04メトリクス, 05検査, 検証, 06ソフトウェア開発支援環境やCASE, 07標準化, 08再利用, プログラム合成, 09人的要因, 教育, 10ソフトウェアプロセス, 11知識処理技術のソフトウェア工学への応用, 12品質, 13保守, 14リバースエンジニアリング, 15プロトタイピング, 99その他

4 プログラミング

01プログラミング言語の基本概念・設計原理・実装技術, 02各種プログラミング, 03プログラミング方法論(ビジュアルプログラミング等), プログラミング環境(処理系, ツール等), 04プログラミング技術(ガーベジコレクション等), 05並列化

コンパイラ, 並列処理言語, 並列デバッガ, 06分散オブジェクト指向プログラミング (Java等), 99その他

3 人工知能と認知科学

1人工知能

01知識表現, 02推論・探索, 03学習, 04認知モデル, 05ニューラルネットワーク, 06知識ベース, 07オントロジ, 08知識交換言語, 09エキスパートシステム, 10分散・協調AI, 11ファジー理論, 12パターン・自然言語の理解, 13知的インタフェース, 14 AIアーキテクチャ, 15複雑系, 16人工生命, 17生体情報処理, 18遺伝的アルゴリズム, 19知能メカニズム関連研究と応用システム, 20エージェントモデル, 99その他

2自然言語処理

01言語理論, 02言語行動, 03言語資料・統計, 04辞書 (レキシコン), 05言語コーパス, 06形態素解析, 07統語解析, 08意味解析, 09文脈解析, 10対話 (システム), 11談話理解・語用論, 12知識表現, 13機械翻訳, 14自然言語処理ソフトウェア, 15自然言語インタフェース, 16校正支援, 99その他

3音声言語情報処理

01音声言語情報処理 (音声の分析・加工・合成・認識・理解, 話し言葉の解析・解釈・生成), 02音声言語処理システム (ディクテーション, 音声対話, 音声翻訳), 03言語モデルと音声言語コーパス, 04音声インタフェースと音声応用, 99その他

4視覚情報処理

01視覚認識, 02視覚・映像メディア処理, 03画像処理, 04画像理解, 05物体認識, 06文字・図形の処理と認識, 073次元復元, 08ステレオ視, 09運動解析, 10距離解析, 11色彩解析, 12ロボットビジョン, 13画像処理プロセッサ, 14画像・ビデオ映像の知的編集および知的映像効果の生成, 15立体テレビ, 16人物画像処理, 99その他

5音楽情報科学

01計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 電子楽器, 02音楽信号処理, 03 AIと音楽, 04音楽の認知・知覚・感性情報, 05音楽情報処理システム, 06音楽学や音楽芸術と計算機技術, 99その他

4 データベースとメディア

1データベース

01データモデル, 02データベース言語・DBPL, 03データベース設計・システム分析設計, 04一貫性制約・アクティブDB, 05 DBMS, 06質問処理, 07トランザクション管理・OLTP, 08物理的記憶構造, 09信頼性・障害時回復・安全性, 10超並列DB, 11 DB専用ハードウェア (RAIDなど), 12分散型DB・マルチDB, 13データウェアハウス, 14情報資源管理とリポジトリ, 15オブジェクト指向DB, 16マルチメディアDB (テキストDB・画像DB・動画DB・VODなど), 17履歴DB・版管理, 18地理DB・空間データ管理, 19オフィス情報システム, 20グループウェアDB, 21エンジニアリングDB, 22サイエンティフィックDB・遺伝子DB, 23データベース発掘・知識発見, 24モバイルDB, 25 DB高度応用, 99その他

2情報検索

01情報検索技術, 02ソースラス, 03ハイパテキスト・ハイパメディア, 04インターネットDB (エージェントなど), 05電子図書館, 06全文検索, 07ベンチマーク, 99その他

3メディアと情報

01情報の表現・識別・分類・評価・検索・流通・管理, 02情報概念体系, 03辞書・用語, 04大量情報の組織化, 05情報の知識化, 06マルチメディアコンテンツ創作・表現・編集, 07マルチメディアコンテンツ検索・流通・管理, 08メディア論, 09構造化記述 (SGML, HTML, VRMLなど), 99その他

5 ネットワーク

1マルチメディア通信と分散処理

01分散処理, 02分散コンピューティング, 03高速通信, 04コンピュータネットワーク, 05マルチメディア通信とその応用, 06プロトコル, 07ネットワーク管理, 08エージェント通信, 09分散協調, 10インターネット, 11イントラネット, 12ネットワークセキュリティ, 99その他

2分散システム運用

01コンピュータネットワーク運用・管理, 02ダウンサイジング (クライアント/サーバ), 03ライセンス, 04セキュリティ, 05教育・技術移転, 99その他

3マルチメディア符号化

01高品質・低ビットレート画像, 02音声信号処理, 03符号化システム, 04マルチメディアの国際標準化 (MPEG, DAVIC等), 99その他

4モバイルコンピューティング

01移動体通信計算機環境 (言語, OS, インタフェース等), 02携帯端末 (アーキテクチャ, デバイス等), 03セキュリティ, 04移動体ネットワーク (アーキテクチャ, プロトコル, 管理運用等), 05無線ネットワーク (衛星通信, 無線LAN等), 06分散協調プロトコル, 07ユービキタスコンピューティング, 08モバイルエージェント, 09ロボットシステム, 10モバイルアプリケーション, 11モバイル社会システム, 99その他

6 インタフェース

1ヒューマンインタフェース

01計算機システムのインタフェース, 02マルチメディア/マルチモーダルインタフェース, 03コミュニケーションとインタフェース, 04協調作業のインタフェース, 05文書処理のインタフェース, 06認知情報処理, 07インタフェースデザイン技法, 08インタフェース評価法, 09知的ヒューマンインタフェース, 10感性情報処理, 11ヒューマンファクタ, 12障害者補助, 99その他

2グループウェア

01協調基礎 (組織, 認知, 社会心理, 行動科学), 02グループ応用 (意思決定, 協同設計, 発想, 教育), 03グループワークインフラ (ワークフロー, グループ通信), 04分散オフィス, 05マルチユーザのインタフェース, 06電子会議, 電子掲示板, 07事例, 08仮想環境におけるヒューマンインタラクション, 99その他

3グラフィクスとCAD

01形状モデリング, 02 CGシステム, 03 CG用モデリング (モーションキャプチャリングやフラクタル等), 04レンダリング, 05 CG応用 (アニメーション, イラスト等), 06 CAD/CAMシステム, 99その他

4仮想現実感

01センサ (磁気, 超音波, 生体信号等), 02感覚提示技術 (視覚, 聴覚, 力覚等), 03仮想環境とシミュレーション, 04仮想物体の操作, 05コミュニケーション技術, 06臨場感通信とテレイグジスタンス, 07 AR (強化された現実), 08応用事例, 99その他

7 コンピュータと人間社会

1情報システム

01情報システムの分析・設計・構築・運用と利用, 02情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 03情報システムと人間・組織・社会との相互関連, 04情報システムのマネジメント (情報システム監査, 危機管理など), 05産業分野への応用, 06公共分野 (社会) への応用, 07企業経営と情報システム, 08新しい情報技術 (インターネット, モバイルなど) の活用, 99その他

2コンピュータと教育・学習

01情報教育, 02 CAI・教育工学, 03カリキュラム, 04教育システム, 05教材開発支援ツール, 06コンピュータリテラシ, 07アミューズメント, 99その他

3コンピュータと社会

01人文・社会科学における情報処理, 02博物館・美術館における情報処理, 03マルチメディアシステムの応用, 04知的所有権,

05情報の社会的側面, 06情報倫理, 07防災と情報, 99その他
4医療分野への応用

01基礎医学, 02臨床医学, 03社会医学, 04医療情報システム,
05歯学, 06薬学, 99その他

5企業活動への応用

01電子商取引, 02 CALS, 03コンカレントエンジニアリング,
04システムインテグレーション, 05生産スケジューリング, 06
意思決定支援システム, 99その他

6標準化

01規格・標準化, 99その他

8 その他

※※※※※※※※※※※※※※

「画像の認識・理解シンポジウムMIRU2000」

論文募集

—Meeting on Image Recognition and Understanding2000—

画像の認識・理解シンポジウム (MIRU) は、国内で最大規模の画像の認識と理解に関するシンポジウムで、今回で5回目となります。同分野の多くの研究者が集い、新しい世紀に向けての研究展開を議論したり、情報を交流するのに絶好な機会です。一般論文およびオーガナイズドセッションを募集いたします。

日 程 平成12年7月18日 (火) ~21日 (金)

会 場 長野ビッグハット (若里ホール)

[長野市若里3-22-2. Tel(026)223-2223]

主 催 電子情報通信学会 パターン認識・メディア理解研究会

共 催 情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 計測自動制御学会 パターン計測部会

協 賛 映像情報メディア学会 画像情報システム研究会

論文募集要項

対象分野

パターン認識・画像認識の基礎理論

画像処理 (物体認識, テクスチャ解析, 色彩情報処理等)

文字認識, 文書処理, 産業応用, 医用画像処理,

ヒューマンインターフェース, 映像処理,

マルチメディアDB検索, 複合現実感

オーガナイズドセッション

特定のトピックやプロジェクト報告などを行うセッションです。運営については提案者が中心となって行います。

応募方法

<http://www.brl.ntt.co.jp/MIRU2000/>をご参照ください。

スケジュール

◇一般論文

- (1) 論文投稿締切 平成12年1月31日 (月)
- (2) 採否通知 平成12年4月上旬
- (3) カメラレディ原稿提出締切 平成12年5月31日 (水)

◇オーガナイズドセッション

- (1) 投稿締切 平成11年11月30日 (火)
- (2) 採否通知 平成11年12月下旬

その他の企画

若手プログラムや、ビデオプロシーディング等を予定。

照 会 先 村瀬 洋 (NTT CS基礎研)

E-mail:miru-qa@eye.brl.ntt.co.jp

※※※※※※※※※※※※※※

情報処理学会論文誌

「知識と情報の共有」特集への論文投稿のご案内

論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において、下記の要領で「知識と情報の共有」をテーマに特集号を企画しております。グループウェア、CSCWに関する論文の特集号であり、当学会の知識と情報の共有に関連した研究会、シンポジウム、ワークショップ、国際会議等で発表された方々、およびこれに関連した研究開発者の方々に對して、広く論文を募集いたしますので、奮ってご投稿くださいますようお願いいたします。

投 稿 要 領

論文の執筆要領 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内によります。論文投稿規約は「情報処理」1999年1月号 (別冊会告) に掲載されています。

査読手続き 通常の論文誌投稿論文と同一ですが、特集号編集期限の関係上著者への照会期間は通常 (3カ月) より短縮されますので、投稿に際しあらかじめご了承ください。

投稿締切 2000年3月15日 (水) 必着

投稿論文には、「知識と情報の共有」特集と朱書してください。

特集号予定 2000年10月号

寄贈図書一覧

- (99-50) スチュアート・カウフマン (著), 米沢富美子, 森 弘之, 五味社平, 藤原 進 (訳): “自己組織化と進化の論理-宇宙を貫く複雑系の法則-”, 549p, 日本経済新聞社, (1999-9): 2,500円+税
- (99-51) 宮沢 篤, 武田政樹, 柳原孝安 (著): “コンピュータゲームのテクノロジー” (岩波 科学ライブラリー69), 132p, (株) 岩波書店, (1999-9): 1,200円+税
- (99-52) 松下 温 (著): “図解・通信ネットワークの基礎”, 175p, (株) 昭晃堂, (1999-9): 2,700円+税
- (99-53) Christopher J. Van Wyk (著), 中森真理雄 (監訳): “データ構造とCプログラム”, 400p, 丸善 (株), (1999-10): 4,800円+税
- (99-54) 長尾 真, 安西祐一郎, 神岡太郎, 橋本周司 (著): “岩波講座マルチメディア情報学1・マルチメディア情報学の基礎”, 240p, (株) 岩波書店, (1999-10): 3,400円+税

◆研究報告残部購入申込

発表年月 (資料番号), 研究会名, 希望部数, 申込者氏名, 送付先, 電話番号を明記のうえ, 書面にて (E-mail, Fax可) 事務局調査研究担当までお申込みください。その際にはあらかじめ電話等で残部の確認をお願いします (当年度, 前年度残部のみ頒布可。送料: 270円/冊)。

残部資料のないもののコピーサービスに関しては, 科学技術振興事業団 (JST) へお問合せください (有料)。国立国会図書館においても閲覧, コピーすることができます。

- * 国立国会図書館
〒100-0014 千代田区永田町1-10-1 Tel(03)3581-2331
- * 科学技術振興事業団 (JST)
〒100-0014 千代田区永田町2-5-2 Tel(03)3581-6411

◆研究報告の閲覧

閲覧希望者は, あらかじめ電話等でその旨を調査研究担当までご連絡のうえお越しく下さい。

◆照会先 情報処理学会 調査研究担当

日本学術会議第18期会員の推薦について

日本学術会議会員は、各学会が推薦した候補者のうちから選定されます。今回は第18期会員の候補者を推薦することとなります。つきましては、下記の要領により、同会員の候補者として適当な方のご推薦をお願いいたします。なお、ご推薦いただいた候補者につきましては、理事会で選定のうえ、本会の会員候補者として日本学術会議に推薦します。

記

1. 日本学術会議法による学術会議会員の候補者の資格等
 - (1) 日本学術会議会員は、
 - ・その専門とする科学または技術の分野において5年以上の研究歴を有し、当該分野における優れた研究または業績がある科学者でなければならない。
 - ・会員の任期は3年とし、通じて9年を超えて在任することができない。ただし、任期の途中において9年に達したときは、その任期の終了するまでの間、在任することができる。
 - ・日本国籍を有しなければならない。
 - (2) 日本学術会議会員候補者は、
 - ・登録学術研究団体が、その構成員である科学者のうちから選定する。
(本会は登録学術研究団体)
2. 推薦者の資格
本会正会員に限る。
3. 推薦候補者数
情報工学（第5部）、情報学（第4部）、電子・通信工学（第5部）について、本会正会員の中から各1名以内。
4. 推薦方法
下記の推薦用紙に所定の事項を記入し、本会事務局長あてに郵送すること。
5. 推薦締切日 平成11年12月6日（月）必着

.....き り と り.....

第18期日本学術会議会員の候補者推薦用紙

候補者氏名 (所属機関・職名)	情報工学（第5部）	
	情報学（第4部）	
	電子・通信工学（第5部）	
推薦者 住所・氏名 (連絡先電話番号)	正会員	

支部だより

情報処理学会支部連絡先

北海道支部：北海道大学工学部情報工学科内

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

E-mail:ksaito@eng.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819

Fax(011)706-6819

東北支部：東北大学大学院情報学研究科内

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉05

E-mail:hanyu@kameyama.ecei.tohoku.ac.jp

Tel(022)217-7153 Fax(022)263-9401

東海支部：(株)NTTデータ東海支社内

〒460-0003 名古屋市中区錦2-17-21 NTTDATA東銀ビル

E-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517

Fax(052)204-4521

北陸支部：富山県立大学工学部内

〒939-0398 富山県射水郡小杉町黒河5180

E-mail:ataka@pu-toyama.ac.jp Tel(0766)56-7500 (ext.181)

Fax(0766)56-8044

関西支部：(財)関西情報センター内

〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F

E-mail:ipsj-kansai@ks.kiis.or.jp Tel(06)6346-2543

Fax(06)6346-2443

中国支部：NTTコミュニケーションウェア(株)中国支社内

〒733-8645 広島市西区商工センター2-6-1

E-mail:yoshioka@chugoku.nttcom.co.jp Tel(082)276-8702

Fax(082)276-8765

四国支部：高知工科大学情報システム工学科内

〒782-8502 高知県香美郡土佐山田町宮の口185

E-mail:kikuchi@info.kochi-tech.ac.jp Tel(0887)53-1020

Fax(0887)57-2220

九州支部：(株)NTTデータ九州支社総務担当内

〒812-0011福岡市博多区博多駅前1-17-21NTTDATA博多駅前ビル

E-mail:bsarigam@bs.kyr.nttdata.co.jp Tel(092)475-5123

Fax(092)475-5185

*各支部の最新情報は<http://www.ipsj.or.jp>からリンクしています。

北陸支部 「見学会」開催案内

日時 平成11年11月24日(水) 15:20~17:00

見学先 (株)富山富士通(富山県婦負郡八尾町保内2-2-1)
およびCTY8ケーブルテレビ八尾(富山県婦負郡八尾町保内
1-30-10)

集合場所 (株)富山富士通

定員 30名(定員に達し次第締切)

会費 無料

申込方法 11月17日(水)までに(1)所属機関,(2)役職名,
(3)氏名,(4)連絡先を明記のうえE-mailまたはFaxにて下記
照会先宛に申込みのこと。

照会先 北陸支部(前記「支部連絡先」参照)安宅彰隆

中国支部 「講演会」開催案内

日時 平成11年11月25日(木) 13:30~16:00

会場 (株)中電工 上天満ビル9F大会議室(広島市西
区上天満町1-15)*駐車場不備のため交通機関を利用のこと。

テーマ 「電力供給電圧400V化への展望」

主催 電気設備学会中国支部

共催 情報処理学会,電気学会,電子情報通信学会,映
像情報メディア学会,照明学会,日本電設工業協会,日本
電気技術者協会各中国支部,建築設備技術者協会中国・四
国支部

定員 50名(定員に達し次第締切)

内容

[13:30~13:35] 開会挨拶

[13:35~14:05] 400V配電の将来動向

山田昌志(中国電力)

[14:15~15:45] 需要設備における400V配電

池守正(三菱電機)

[15:45~15:55] 質疑応答

[15:55~16:00] 閉会挨拶

参加費 無料

申込方法 ハガキまたはFaxにて「講演会：電力供給電圧400V
化への展望申込」と標記し,(1)所属学会(協会),(2)氏名,
(3)会社名・所属・役職名,(4)連絡先(Tel, Fax)を記入の
うえ,下記照会先宛に申込みのこと。

照会先 〒733-0021 広島市西区上天満町1-15

(株)中電工・技術開発部内 電気設備学会中国支部事務局

担当:吉森 Tel(082)293-3851 Fax(082)233-2510

四国支部 「講演会」開催案内

日時 平成11年11月26日(金) 14:40~16:40

会場 徳島大学工学部知能情報工学科棟C10教室

演題 認知科学=コンピュータ×(心理学+脳神経科学)

講師 柳田益造(同志社大)

照会先 徳島大学工学部知能情報工学科 矢野米雄

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1

E-mail:yano@is.tokushima-u.ac.jp

Tel(088)656-7495 Fax(088)623-2761

北陸支部 「講演会」開催案内

日時 平成11年11月29日(月) 15:00~16:30

会場 福井大学地域共同研究センター研修室

演題 安全な電子商取引について

講師 辻秀一(電子商取引実証推進協議会)

参加費 無料(参加資格不問)

照会先 北陸支部(前記「支部連絡先」参照)安宅彰隆

または〒910-8507 福井市文京3-9-1

福井大学工学部情報・メディア工学科

Tel(0776)27-8578(担当:都司)

四国支部 「講演会」開催案内

日時 平成11年12月1日(水) 9:00~10:30

会場 高知工科大学教育研究棟B106(高知県香美郡土佐
山田町宮ノ口185)

演題 ネットワーク関連サービスと技術の開発動向につい
て

講師 由木泰紀(西日本NTT)

照会先 高知工科大学情報システム工学科 島村和典

〒782-8502 高知県香美郡土佐山田町宮ノ口185

E-mail:shimamura@info.kochi-tech.ac.jp

Tel(0887)53-1020(秘書室)

北陸支部 「講演会」開催案内

日時 平成11年12月6日(月) 16:00~17:30

会場 金沢大学工学部第1会議室

演題 21世紀情報文明社会

—情報通信網をインフラとした医療・福祉—

講師 岩田彰(名工大)

参加費 無料(参加資格不問)

照会先 北陸支部(前記「支部連絡先」参照)安宅彰隆

または〒920-8667 金沢市小立野2-40-20

金沢大学工学部電気・情報工学科

Tel(076)234-4909(担当:船田)

四国支部 「講演会」開催案内

日時 平成11年12月8日(水) 9:00~10:30
会場 高知工科大学教育研究棟B106 (高知県香美郡土佐山田町宮ノ口185)
演題 企業採用担当からみた技術系大学卒業生の期待
講師 長谷雅彦 (NTT)
照会先 高知工科大学情報システム工学科 島村和典 (*前記参照)

中国支部 「講習会」開催案内

日時 平成11年12月8日(水) 13:30~16:50
会場 (株)中電工 上天満ビル9F大会議室(広島市西区上天満町1-15) *駐車場不備のため交通機関を利用のこと。
テーマ 「情報通信技術と電気設備」
主催 電気設備学会中国支部
共催 情報処理学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 映像情報メディア学会, 照明学会, 日本電設工業協会, 日本電気技術者協会各中国支部, 建築設備技術者協会中国・四国支部
定員 40名(定員に達し次第締切)
内容 (*都合による時間割・講師等の変更あり)
[13:30~13:35] 開会挨拶
[13:35~15:05] 情報通信ネットワーク
長谷川直樹(松下電工)
[15:15~16:45] 電気設備の最新ネットワーク技術
藤井準一(富士電機)
[16:45~16:50] 閉会挨拶
参加費 無料
申込方法 ハガキまたはFaxにて「講習会:情報通信技術と電気設備申込」と標記し,(1)所属学会(協会),(2)氏名,(3)会社名・所属・役職名,(4)連絡先(Tel, Fax)を記入のうえ,下記照会先宛に申込むこと。
照会先 〒733-0021 広島市西区上天満町1-15
(株)中電工・技術開発部内 電気設備学会中国支部事務局
担当:吉森 Tel(082)293-3851 Fax(082)233-2510

中国支部 「講演会」開催案内

日時 平成11年12月14日(火) 14:00~16:00
会場 鳥取大学工学部大学院棟6F大ゼミナール室(鳥取市湖山町南4-101)
演題 ロボカップのたいなる挑戦
講師 浅田 稔(阪大)
参加費 無料
照会先 鳥取大学工学部知能情報工学科 魚崎勝司
E-mail:uosaki@ike.tottori-u.ac.jp
Tel(0857)31-5226 Fax(0857)31-0879

関西支部 「平成11年度セミナー」開催案内

日時 平成11年12月15日(水) 13:00~17:30
会場 天満研修センター(大阪, JR環状線天満駅より徒歩2分。http://www.temmacenter.com/)
テーマ 「情報家電の技術」
講演予定
(1) オペレーティングシステムAperiosについて 篠崎郁生(ソニー)
(2) Jiniテクノロジー概説 宇野浩司(サン・マイクロシステムズ)
(3) マルチメディア時代のAVネットワーク

上田 徹(シャープ)
(4) 将来の家庭内ネットワークHAVi(仮題) 池崎雅夫(松下電器)
定員 50名
参加費(当日受付払い)
会員:3,000円, 非会員:5,000円, 学生:1,000円
申込方法 E-mailの場合にはSubjectに, Faxの場合には送信用紙に「H11年度セミナー申込み」と標記し,(1)氏名・所属機関・部署,(2)会員/非会員/学生の別,(3)Tel, Fax,(4)E-mailアドレスを明記のうえ,関西支部事務局宛に申込みのこと。
照会先 関西支部事務局(前記「支部連絡先」参照)

中国支部 「映像の科学シンポジウム'99」一般講演等募集

日程 平成11年12月17日(金)・18日(土)
会場 常盤工業会館(宇部市 山口大学工学部前)
主催 山口大学工学部, 画像計測処理研究会
共催 山口県産業技術開発機構, 情報処理学会中国支部
特別講演(下記ほか1件予定)
「可視化の重要性と最近の可視化技術」 山下英生(広島大)
招待講演(下記ほか2件予定)
「種類のヴェクシオンの相互作用」 伊藤裕之(九州芸工大)
「Calibrated Computer Graphics」 浅田尚紀(広島市立大)
「空間充填曲線と画像圧縮応用」 鎌田清一郎(九大)
特別企画 映像デザインとCGアニメーション 木下武志(山口県立大)

一般講演等募集内容

一般講演(17件:以下(1)~(5)), およびポスター&ビデオ発表(10~15件:先着順)について皆様から広く演題を募集します。興味をお持ちの方の積極的な参加をお願いします。
(1) 動画像処理による科学計測(4件)
(2) コンピュータビジョンと映像メディア(4件)
(3) パターン認識と理解(4件)
(4) コンピュータグラフィックス(3件)
(5) 映像デザインと視覚心理(2件)
照会先 動画像計測処理研究会事務局(山口大学工学部感性デザイン工学科内) 三池秀敏
E-mail:miike@kde.yamaguchi-u.ac.jp
Tel(0836)35-9457 Fax(0836)31-8075

※※※※※※※※※※※※※※※※

役員選挙:分野別定数の改訂について

会長 長尾 真

本会理事会では,役員選挙における分野別理事選出定数について,平成12年度役員選挙(平成12年2月実施予定)より,以下の通り改訂することといたしましたので,概要をここにご報告いたします。

現実の学会運営・事業等の活動も考慮した今回の理事選出方法の改訂により,本会の活動が一層活性化されることを期待しています。

■改訂の趣旨

現行の理事(会長・副会長を除く17名)は,会員構成比(教育界3:産業界7)に比例して選出されています。具体的には理事17名の内訳は,教育界5名,産業界12名となっています。

しかし学会存立の基盤は,会員の数とともに学会活動そのものがどこまで活発になされているかという点にもあることを考えると,学会活動を積極的に推進する会員が理事になって,学会運営に参画する機会を増やすこともまた大切であると思われま。

このことから分野別理事選出定数の基本を,会員数比例分に

加えて学会活動比例分も考慮した定数配分といたしました。

- (1) すなわち17名の理事定数を、会員比例分を2、学会活動比例分を1の比率とし、具体的定数は、会員比例分に11名を、活動比例分に6名を割当てます。
- (2) さらに、前項の会員比例相当の11名を、現在の正会員数比例で配分し、11名中の具体的定数を、教育界3名、産業界8名とします。
- (3) 一方、学会活動の推進者は、現状で概ね教育界2に対して産業界1の割合であることから、活動比例相当の6名については、教育界4名、産業界2名とします。
これにより2年後（平成13年度）の理事改選までには、教育界理事7名、産業界理事10名となります。
なお、国公立の研究機関等はその活動内容から教育界と同等とみて、分野は教育界に含めることとします。

■理事17名の分野別定数の改訂概要（*各数値は改訂2年後）

[現行]

教育界5名：産業界12名 会員構成比（教育3：産業7）に対応

[改訂案]

教育界7名：産業界10名

(イ) 会員構成比例分2(11名) → 11名中 教育3名：産業8名(3：7)

(ロ) 学会活動比例分1(6名) → 6名中 教育4名：産業2名(2：1)

教育7名：産業10名(4：6)

※※※※※※※※※※※※※※※※

会員の皆様へのお知らせ・お願い

●平成12年度会費、論文誌購読費および研究会登録費の口座自動振替納入のご利用について

平成12年度会費、論文誌購読費および研究会登録費の納入には、手続きが簡単で便利な預金口座自動振替をおすすめします。

個人会員（一括扱いを除く）の方は、銀行または郵便局の口座をご登録いただければ、会費および論文誌購読費を毎年3月（または7月）27日（土日、祝祭日の場合は翌営業日）にご指定の口座から自動振替により納入することができます。

自動振替を希望される会員の方は、下記申込方法をご参照のうえ11月末日までにお申送ください。

申込方法

1. 都市銀行、地方銀行、信託銀行、信用金庫、労働金庫、外国銀行（日本国内支店）（信用組合、農協は除く）

(1) 「預金口座振替依頼書」（Vol.40 No.3, No.9会告掲載）にご記入、ご捺印のうえ下記照会先へご郵送ください。

(2) 記入要領 依頼書をご参照ください。

2. 郵便局

(1) お近くの郵便局に通帳、印鑑をご持参いただき郵便局備付けの「自動振込利用申込」に必要事項（下記参照）をご記入のうえ窓口へ提出してください。

(2) 必要事項

- ・振込先口座番号：00150-4-83484
- ・振込先加入者名：社団法人 情報処理学会
- ・振込開始月：3月または7月
- ・払込日：27日
- ・払込金の種類：会費 33
- ・料金等支払人：会員の住所、氏名、電話番号（口座名義人と同一の場合省略可）
- ・備考：会員番号

(3) 通帳への記載事項

「会費 ジョウシヨガツカイ」と印字されます。

*会費以外（論文誌購読費および研究会登録費）の場合でも、同様に印字されます。

*口座変更や口座自動振替中止の場合はすみやかに、下記照会先までご連絡ください。

なお、口座変更は新規登録と同様の手続きとなります。

●会員登録データの変更連絡について

会員登録データ（含む機関誌等送付先）に変更が生じた場合には速やかに「変更連絡届」（偶数月号：付録会告、ホームページ各種申込書）で変更内容をご連絡ください（E-mail, Fax可）。

なお、会員資格は自動継続になっております。退会を希望される会員の方はその旨を上記用紙にご記入いただきご連絡ください（E-mail, Fax可）。変更受けは毎月20日に締切り、翌月号から変更いたします。

また、郵便番号7桁化の作業も同時に進めておりますので、ビル固有の郵便番号をお持ちの場合にはご連絡ください。

*事務局へのご連絡の際には必ず会員番号と氏名を明記願います。

●平成11年度会費、論文誌購読費および研究会登録費のご納入について

本年度の会費・論文誌購読費および研究会登録費未納の方へ、11月中に郵便振替用紙を発送する予定です。

お近くに未納の方や納入金額などが不明という方がいらっしゃいましたら、下記照会先までお問い合わせくださいますようお願いください。ご協力を願います。

なお未納の方はすでに9月号から機関誌の発送を停止しております。納入が遅れますと停止期間中の機関誌を送付できない（在庫切れ等のため）ことがありますのでご注意ください。

注1) 研究会登録費をご納入いただいていない方も、研究報告の発送を停止しております。

注2) ご納入後、停止期間中の機関誌バックナンバーをご希望の方はご連絡ください（在庫がある場合に限りです）。

振込み先 ・郵便振替 00150-4-83484
・第一勧業銀行 虎ノ門支店（普）1013945
・東京三菱銀行 虎ノ門公務部（普）0000608
名義人 社団法人 情報処理学会

●平成11年度下期会費および論文誌購読費請求について（一括扱い会員の方）

11月中に一括担当者宛に請求いたします。

一括扱い会員は一括担当者を通してのご納入となりますので、各担当者の指示に従ってください。

照会先 情報処理学会 会員担当

※※※※※※※※※※※※※※※※

会議案内（協賛・後援）

◆：本会協賛・後援 1. 開催日 2. 会場 3. 照会先 4. その他

【国内会議】

◆第20回全日本マイクロマウス大会

1. 平成11年11月20日（土）～21日（日）、23日（祝）
2. 横須賀市南体育会館 3. (財)ニューテクノロジー振興財団
Tel(03)3504-1323 E-mail:KYD02036@nifty.ne.jp
http://www.bekkoame.ne.jp/~ntf/mouse/mouse.html

◆公開シンポジウム「視覚と運動を通して空間を把握する」

1. 平成11年12月21日（火） 2. けいはんなプラザ（京都府精華町）
3. 沢尾・小倉（株）けいはんな
Tel(0774)95-5114 E-mail:forum@keihanna-plaza.co.jp

◆第12回自律分散システム・シンポジウム

1. 平成12年1月21日（金）～22日（土） 2. 那覇市自治会館
3. 喜多（東工大） Tel(045)924-5680
E-mail:das2000@kitalab.dis.titech.ac.jp

◆ロボティクス・メカトロニクス 講演会2000

1. 平成12年5月11日(木)～14日(日)
2. グランメッセ熊本(熊本県益城町)
3. (社)日本機械学会 Tel(03)5360-3500 Fax5360-3508

◆第30回信頼性・保天性シンポジウム

1. 平成12年7月11日(火)～12日(水)
2. JAビル(都内千代田区)
3. 遠藤・茂田((財)日本科学技術連盟)
Tel(03)5379-1224 E-mail:XLA03104@nifty.ne.jp

【国際会議】

◆トロンプロジェクト国際シンポジウム

1. 平成11年12月2日(木)～4日(土)
2. 東京デザインセンター(都内品川区)
3. 大橋((社)トロン協会) Tel(03)3454-3191



その他のお知らせ

○電気通信普及財団平成11年度研究調査助成」のお知らせ

「電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究調査への助成」、および「電気通信技術の振興・普及に関する研究調査への助成」を行います。応募要領など詳細は下記にお問合せください。

応募締切 平成11年11月30日(火)(必着)

照会先 〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル5F
(財)電気通信普及財団 Tel(03)3580-3411 Fax(03)3580-3488
http://www.taf.or.jp



第445回理事会

日時 平成11年9月22日(水) 17:30-20:30
会場 情報処理学会会議室
出席者 長尾会長, 江原, 大河内, 大蒔, 釜江, 河田, 富田, 西尾, 宮西, 旭, 石井, 小花, 上林, 工藤, 調, 安浦各理事, 増永, 菊野各監事
(委任状による出席) 松下, 発田各副会長, 吉澤, 滝沢各理事
(事務局) 柳川事務局長ほか2名

議題

1. 承認事項

- 承-1 平成11年9月17日(現在)会員入退会状況を承認した。

正会員	25,324(名)	}	26,841(名)
学生会員	1,504		
海外会員	13		
賛助会員	426(社) 554(口)		
- 2 平成11年7/8月分一般会計収支状況を承認した。
- 3 定款改訂に伴うスケジュール(修正版)(案)
文部省の認可遅延に伴う代表会員選挙等日程の変更案を承認した。
- 4 第8回(平成11年度)坂井記念特別賞選定手順の日程(案)を承認した。
- 5 Best Editor賞の新設について
Best Editor賞を新設し、会誌40巻1号以降を対象に実施することを承認した。
- 6 研究会助成金の受入について
研究会から申請のあった助成金の受入を承認するとともに、今後の同様の案件については調査研究運営委員会で承認することとした。
- 7 シンポジウム開催願い(4件)/終了報告(3件)
シンポジウムの開催願い4件を承認し、終了報告3件を了承した。
- 8 日本技術者教育認定機構(JABEE)の理事推薦等について
当学会が正会員となること、米田英一氏を理事として推薦することを承認した。

- 9 国内会議協賛・後援依頼
5団体からの6件の協賛・後援依頼を承認した。
- 10 Gordon & Breach社との契約の見直しについて
アドバンステクノロジーシリーズの出版に関するG & B社との契約を先方申出どおり変更することを承認した。
- 11 アドバンステクノロジーシリーズの販売価格決定権の移管について
販売価格等の決定を英文図書出版委員会に任せることを承認した。
- 12 情報処理学会編出版物の翻訳願いについて
韓国金氏からの翻訳出版依頼を承認した。
- 13 国際会議協賛・後援依頼
6団体からの6件の協賛・後援依頼について、うち1件(当学会と関係なし)を除く5件を承認した。
- 14 国際会議開催申請(1件)
国際会議の開催(共催)1件を承認した。
- 15 情報規格調査会委員の変更
情報規格調査会3号および4号委員の変更を承認した。
- 16 第13回アジア情報技術標準化フォーラムへの協賛
国際情報化協力センターからの協賛依頼を承認した。

2. 審議事項

- 審-1 役員選挙関連規程の改訂について
役員選挙の際の理事の教育:企業A:企業Bの分野別定数を、現在の5:7:5から7:6:4に変更し、国立研究機関等を教育分野に入れることを承認した。
また、候補者の学会活動経験等を考慮すること、12年度は年齢制限を設けないことについても申し合わせた。
- 2 平成12年度一般会計予算編成方針
- 3 学生プログラミングコンテスト実施案
創立40周年記念行事の一環とすること、2001年3月の全国大会で表彰すること等を決定した。
- 4 準会員および会誌購読員制度の提案
(1)「準会員」の入会資格を広げ、現在の海外会員に加えて、高校、中小学校等の職員、地方自治体の職員等も対象とすることとした。
(2)会誌のみの購読を希望する団体等のために、新たに「会誌購読員制度」を設けることとした。
- 5 学会創立40周年記念行事について
平成12年10月20日(金)に記念式典を行うほか、記念全国大会、記念出版、プログラミングコンテスト等を行うこととした。

3. 報告事項

- 総-1 平成11年7月/8月期開催会議
- 2 平成11年9月現在広告受付進捗状況
- 3 第7回会員増強委員会
- 4 第1回/第2回産業フォーラム開催要領
- 5 COM Japan 1999(旧データショー)出展案
- 会-1 第22回会誌編集委員会
- 2 著作権規程改訂についての進捗状況中間報告
著者による公衆送信を認めるか否かについて意見が分かれているため、さらに検討を進める旨の中間報告があった。
- 研-1 第243回論文誌編集委員会
- 2 第1回調査研究運営・領域合同委員会
- 3 JABEE設立発起人会出席報告
- 事-1 第61回, 62回全国大会組織委員会
- 2 第60回全国大会プログラム委員会(第2回)
- 3 第26回英文図書出版委員会
- 4 第10回電子化専門委員会
- 国-1 国際会議終了報告(1件)
- 規-1 第142回規格役員会
- 2 工業標準化貢献事業者表彰受賞について
- 他-1 平成12年度科学技術振興調整費統一公募による新規課題の募集について
- 2 第18期日本学術会議会員の選出に係る学術研究団体の登録申請の結果について

研究会の取り扱い分野などについて

各研究会の取り扱い分野などの詳細は、会誌2, 4, 8月号会告欄、または学会ホームページ(<http://www.ipsj.or.jp/sig/bunya.html>)をご参照ください。

◆照会先 (社)情報処理学会 調査研究担当

採録論文一覧

情報処理学会論文誌

- 平成11年10月の論文誌編集委員会で採録された論文は次のとおりです(カッコ内は受付年月日)。
- ◇ 小嶋和徳, 石亀昌明, 松尾 広: 遺伝的アルゴリズムにおけるSRG選択法の提案 (98.7.15)
 - ◇ 岡本雅巳, 小幡元樹, 松井巖徹, 松崎秀則, 笠原博徳, 成田誠之助: マルチグレイン並列化FORTRANコンパイラ (98.8.10)
 - ◇ 藤尾正和, 松本裕治: 語の共起確率に基づく係り受け解析とその評価 (98.10.15)
 - ◇ 櫻井鉄也, 高林紀馨宣, 名取 亮: ランチョス多項式の漸化式計算における数値的不安定性の回避法 (98.12.21)
 - ◇ 滝本宏宗, 原田堅一: 拡張値グラフを用いた部分無効コード除去法 (98.12.21)
 - ◇ 相良かおる, 渡邊勝正: 英文契約書式集に含まれる名詞間の類似度計算 (99.1.5)
 - ◇ 右田剛史, 天野 晃, 浅田尚紀, 藤野清次: 級数の再帰的集約による多倍長数の計算法と π の計算への応用 (99.1.11)
 - ◇ 村田真樹, 内元清貴, 馬 青, 井佐原均: 排反な規則を用いた文節まとめあげ (99.1.13)
 - ◇ 田原康之, 大須賀昭彦, 本位田真一: ビヘイビアパターンに基づくモバイルエージェントシステム開発手法 (99.2.18)
 - ◇ Tomoya Enokido, Hiroaki Higaki, Makoto Takizawa: Object-Based Group Protocol Based on Object-Based Ordered Delivery (99.3.1)
 - ◇ Tetsuo Kanezuka, Katsuya Tanaka, Hiroaki Higaki, Makoto Takizawa: Qos Oriented Computation in Multimedia Objects (99.3.8)
 - ◇ 山内長承, 佐野哲央, 城下輝治, 高橋 修: 再送を伴う高信頼マルチキャストの送信レートと性能 (99.3.15)
 - ◇ 門脇千恵, 爰川知宏, 杉田恵三, 國藤 進: 情報共有促進支援に向けた情報利用推移モデルの一提案 (99.3.23)
 - ◇ 田淵仁浩, 阿部豊子, 中島一彰, 鮎川健一郎, 伊藤文子, 前野和俊: Webページ上でオフィス文書を協同作成できるシステム「オフィスアクセラレータ」の提案と実装 (99.3.25)
 - ◇ 中山良幸, 星 徹, 野中尚道: スクリプト処理が可能なメディア連携メモメタファによるコミュニケーション促進支援システム:Active Memo System (99.3.30)
 - ◇ 小泉寿男, 西野義典: 分散環境における設計データ管理ワークフローシステムの構築と実証 (99.3.30)
 - ◇ 海谷治彦: 代案発生に注目したソフトウェアの共同設計作業における認識不一致の分析 (99.3.30)
 - ◇ 小山慎哉, 葛岡英明, 山崎敬一, 山崎晶子, 加藤 浩, 鈴木栄幸, 三樹弘之: 実空間上の遠隔作業指示を支援するシステムの開発 (99.3.31)
 - ◇ 高橋正道, 北山 聡, 金子郁谷: ネットワーク・コミュニティにおける組織アウェアネスの計量と可視化 (99.3.31)
 - ◇ 望月祐洋, Hideyuki Tokuda: Possessin System:Middleware for Adaptive Collaborative Applications (99.3.31)
 - ◇ 笠井俊信, 岡本敏雄: 仮想的協調学習環境におけるエージェント間コラボレーション (99.3.31)
 - ◇ 陌間 端, 野村恭彦, 林 浩一: アクティビティ・アウェアネス:個人活動からのコラボレーション空間形成 (99.3.31)
 - ◇ 浅井紀久夫, 大澤範高, 近藤喜美夫, 結城皖曠, 田中健二, 吉田勝昭: 大学間衛星ネットワーク「スペース・コラボレーション・システム」の遠隔回線制御 (99.4.1)
 - ◇ 吉野 孝, Takaya Yuizono, Jun Munemori, Kazuo Yunokuchi, Shiro Ito, Yoji Nagazawa: Application of Distance Learning Support System SEGODON to Exercise-type Classes (99.4.1)
 - ◇ 双紙正和, 岡本栄司, 加藤文治, 前川 守: 動的な型付きアクセス行列モデルにおける安全性解析 (99.4.1)
 - ◇ 佐藤俊雄, 金出武雄: 文字認識と異種情報の対応関係に基づいたニュース放送からの情報抽出 (99.4.1)
 - ◇ 小林 稔, 志和新一, 北川愛子, 島田義弘, 一之瀬進: ステレオ重畳表示によるリアルスケールビデオシステム (99.4.5)
 - ◇ 塩澤秀和, 岡田謙一, 松下 温: 背景と奥行きを利用した協調作業空間 (99.4.5)
 - ◇ 渡辺 理, 松倉隆一, 佐々木和雄, 木島祐二: 対面コラボレーション支援環境における電子的な共同スペースのメリットと望ましい操作

- HIについて (99.4.7)
- ◇ 緒方広明, 葉田善章, 矢野米雄: VCoCoA:VCCMLを用いた非同期型協同添削支援システム (99.4.7)
- ◇ 谷川由紀子, 鈴木栄幸, 加藤 浩: 情報共有技術を用いた学級新聞協同作成支援システム-設計思想と評価- (99.4.7)
- ◇ 田添 亘, 梅沢貞夫: 形状関数を利用した画像ゆがみ補正方法の提案 (99.4.9)
- ◇ 中野隆裕, 岩崎正明, 中原雅彦, 竹内 理: Ethernet上でQoSを保証する通信方法の設計と実装 (99.4.26)
- ◇ Tadasu Okoshi, Masahiro Mochizuki, Yoshito Tobe, Hideyuki Tokuda: MobileSocket: Session Layer Continuous Aoperation Support for Java Applications (99.4.30)
- ◇ 辰本比呂記, 安部広多, 安本慶一, 東野輝夫, 松浦敏雄, 山口 弘純, 谷口健一: 時間拡張LOTOSコンパイラの作成とマルチメディアアプリケーションへの応用 (99.5.10)
- ◇ Hiroaki Higaki, katsuya Tanaka, Makoto Takizawa: Pseudo-Active Replication in Wide-Area Network (99.5.11)

掲載論文一覧

(掲載順, 所属は現在のものを記載)

- 情報処理学会論文誌: Vol.40 No.11
- 実空間上の遠隔作業指示を支援するシステムの開発
小山慎哉, 葛岡英明 (筑波大), 山崎敬一, 山崎晶子 (埼玉大)
加藤 浩, 鈴木栄幸 (NEC), 三樹弘之 (沖電気)
 - 背景と奥行きを利用した協調作業空間
塩澤秀和, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)
 - ステレオ重畳表示によるリアルスケールビデオシステム
小林 稔, 志和新一, 北川愛子, 島田義弘, 一之瀬進 (NTT)
 - 対面コラボレーション支援環境における電子的な共同スペースのメリットと望ましい操作HIについて
渡辺 理, 松倉隆一, 佐々木和雄, 木島祐二 (富士通研)
 - 情報共有促進支援に向けた情報利用推移モデルの一提案
門脇千恵 (北陸先端大), 爰川知宏 (西日本電信電話)
杉田恵三 (NTTソフトウェア), 國藤 進 (北陸先端大)
 - オフィスアクセラレータ: Webページ上の文書を任意のパソコンソフトで協同作成できるシステムの提案と実装
田淵仁浩, 阿部豊子, 中島一彰, 鮎川健一郎
伊藤文子 (NEC), 前野和俊 (次世代放送開発本部)
 - 代案発生に注目したソフトウェアの共同設計作業における認識不一致の分析
海谷治彦 (信州大)
 - コミュニティ知識ベース環境の構築へ向けての知識の形成と利用に関する調査と分析
池田文人 (NTTデータ/奈良先端大)
山本恭裕 (奈良先端大), 高田真吾 (慶大)
中小路久美代 (奈良先端大/科学技術振興事業団さきがけ研究21/SRAソフトウェア工学研究所)
 - ユーザモデルに基づく技術支援情報の自動配信サービス
桑田喜隆, 谷津正志 (NTTデータ), 小泉宣夫 (東京情報大)
 - 分散環境における設計データ管理ワークフローシステムの構築と実証
西野義典 (三菱), 小泉寿男 (東京電機大)
 - スクリプト処理が可能なメディア連携メモメタファによるコミュニケーション促進支援システム: Active Memo System
中山良幸, 野中尚道, 星 徹 (日立)
 - VCoCoA: VCCMLを用いた非同期型協同添削支援システム
緒方広明, 葉田善章, 矢野米雄 (徳島大)
 - 仮想的協調学習環境におけるエージェント間コラボレーション
笠井俊信, 岡本敏雄 (電通大)

■Application of Distance Learning Support System SEGODON to Exercise-type Classes Takashi Yoshino (Kagoshima Univ.) Jun Munemori (Wakayama Univ.) Takaya Yuizono, Yoji Nagasawa (Kagoshima Univ.) Shiro Ito (Presently with Aviation Environment Research Center) Kazutomo Yunokuchi (Kagoshima Univ.)

加藤博一 (広島市立大), 中澤篤志, 井口征士 (阪大)

■計測誤差を考慮した距離画像の重ね合わせ手法 清水郁子 (埼玉大), 出口光一郎 (東北大)

■大学間衛星ネットワーク「スペース・コラボレーション・システム」の遠隔回線制御 浅井紀久夫, 大澤範高, 近藤喜美夫 結城皖曠 (メディア教育開発センター) 田中健二 (通信総研), 吉田勝昭 (NEC)

■円盤と位相同型な任意の三角形メッシュ間の合成法 金井 崇 (理化学研究所), 鈴木宏正, 木村文彦 (東大)

■情報共有技術を用いた学級新聞協同作成支援システム—設計思想と評価 谷川由紀子, 鈴木栄幸, 加藤 浩 (NEC)

■データ並列言語における集団通信の実行時認識手法 小笠原武史, 小松秀昭 (日本IBM)

■アクティビティ・アウェアネス：個人活動からのコラボレーション空間形成 林 浩一, 野村恭彦, 陌間 端 (富士ゼロックス)

■インターネットにおけるQoS保証された動画配信システムの設計と実装 後藤幸功 (九大/九州システム情報技術研究所) 長野 央 (ドットアスタ), 荒木啓二郎 (九大)

■ネットワーク・コミュニティにおける組織アウェアネスの計量と可視化 高橋正道 (富士ゼロックス), 北山 聡, 金子郁容 (慶大)

■組み込み用Webサーバのモジュール構造 峯村治実, 山口智久, 大野次彦, 下間芳樹 (三菱)

■Possession System: Middleware for Adaptive Collaborative Applications Masahiro Mochizuki, Hideyuki Tokuda (Keio Univ.)

■組み込み用Webサーバの試作と評価 山口智久, 峯村治実, 大野次彦, 下間芳樹 (三菱)

■要求獲得オフライン法での質的要求の抽出法 土井晃一 (富士通研)

※※※※※※※※※※※※※※※※

新規入会者

平成11年10月の理事会で入会を承認された方々は次のとおりです (会員番号, 敬称略)。

■実用的な経路計画生成のための時間制約付きヒューリスティック探索 平石広典, 大和田勇人, 溝口文雄 (東京理科大)

【正会員】 早瀬 保, 筒木 伸一, 小野 雅敏, 加賀 国臣, 風間 邦治, 桑野 秀豪, 斎藤 勲, 佐々木由香, 柴田 賀昭, 鈴鹿 哲也, 竹内 康人, 檀 良, 崔 鐘龍, 辻 聖子, 中尾 吉克, 中村美奈子, 西村 勝徳, 松本 欣也, 丸山 喬, 吉内 正幸, 富 哲, 中村 維男, 増田 忠弘, 鏡味 義明, 田島 薫彦, 世継 敏朗, 池上 徳則, 萩原 祐志, 佐藤 淳, 中嶋 廣二, 牟田 淳, 土井 陽子, 成田 和子, 安田 泰勲, 植竹 和仁, 直野 健, 竹本 聡, ランジャン グプタ。 (以上38名)

■ADIPSフレームワークのためのエージェント開発支援環境 原 英樹, 藤田 茂, 菅原研次 (千葉工大) 木下哲男, 白鳥則郎 (東北大)

■動的環境におけるエージェント知識の効率的モデル検査法 梅村晃広, 勝野裕文 (NTT)

■スパースな学習データにおける確率係り受け文脈自由文法の確率パラメータの推定法 富浦洋一, 日高 達 (九大)

■「サ変名詞+する」から動詞相当句への言い換え 近藤恵子 (北陸先端大) 佐藤理史 (北陸先端大/科学技術振興事業団さきかけ研究21) 奥村 学 (北陸先端大)

【学生会員】 青山 聡, 植田 政彦, 榎本 暁文, 緒方 啓孝, 奥崎 智裕, 小野瀬友樹, 柏木 康孝, 金田 正哉, 川上 賢人, 河上 伸一, 河原 岳明, 光来 健一, 伍 偉鴻, 小堺 康之, 佐藤 直美, 重安 哲也, 杉焼 一心, 中島 将行, 中須 正人, 中安とし子, 松浦 雅彦, 丸山 幹夫, 三重野浩徳, 室屋 友和, 八木 浩行, 山口 卓也, 米澤 朋子, 李 宇炯, 井出 明, 岡 誠, 中條 新, 妹尾 高光, 吉田 暁。 (以上33名)

■機械翻訳を用いた英日・日英言語横断検索に関する一考察 酒井哲也, 梶浦正浩, 住田一男 (東芝) Gareth Jones (Univ. of Exeter), Nigel Collier (東大)

【賛助会員】 富士通名古屋通信システム (株), 関西電力 (株) 総合技術研究所, 日立エンジニアリング (株) (以上3社)

■楕円体モデルを用いたリアルタイム人物追跡

書籍コード：Z-99-2

好評発売中！ 「西暦2000年問題の現状と対策—技術と法律—」

編集：青山幹雄 (新潟工科大学), 石田晴久 (多摩美術大学)
発行：情報処理学会会誌編集委員会

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 我が国における西暦2000年問題対応の状況 | 河野隆一 (インテック) |
| 2. 西暦2000年問題の技術的課題 | 藤田好也 (野村総合研究所) |
| 3. 西暦2000年問題の法的課題 | 大谷和子 (日本総合研究所) |
| 4. 西暦2000年問題がもたらすソフトウェア保守技術の進展 | 上原三八 (富士通研究所) |
| 5. 西暦2000年問題の理解を深めるために | 尾股達也 (情報サービス産業協会), 青山幹雄 (新潟工科大学) |

A5判, 80頁 定価：500円 (20部一括9,000円, 100部一括40,000円) (税込み, 送料別)

申込先：(社) 情報処理学会 図書担当
<http://www.ipsj.or.jp/> E-mail: tosho@ipsj.or.jp

「第41回プログラミング・シンポジウム」参加申込書

●会員番号（情報処理学会会員の方は、必ずご記入ください）

(A) 会員No. _____

●参加区分（記号で選択のこと）

* 社会人学生の方は一般料金を適用させていただきます。

	会員		非会員	
一般（3名1室）	(1-A) 43,000		(1-a) 48,000	(B) 第1希望 _____
一般（2名1室）	(1-B) 48,000		(1-b) 53,000	第2希望 _____
一般（1名1室）	(1-C) 67,000		(1-c) 72,000	第3希望 _____
学生（4名1室）	(1-D) 27,000		(1-d) 32,000	
登壇発表学生（4名1室）	(1-E) 15,000		_____	
報告集のみ購入	(1-F) 5,250		(1-f) 5,250	

●送金、支払い方法（記号で選択のこと）

- (2-a) 当日持参
 - (2-b) 現金書留で送金
 - (2-c) 郵便振替（00150-4-83484）
 - (2-d) 銀行振込（第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945）
 - (2-e) 銀行振込（東京三菱銀行虎ノ門公務部 0000608）
- 名義人：社団法人 情報処理学会（いずれも普通預金）

(C) 記号 _____

(D) 送金／振込日 _____

●請求書類の必要な方はお申し出ください。

(E) 請求書 _____ 通

(F) 見積書 _____ 通

(G) 納品書 _____ 通

(H) 請求書宛名 _____

●次の各項目は部屋割の資料として使います。

- 性別 (3-a) 男 (3-b) 女
 - 宿泊室 (4-a) 喫煙室希望 (4-b) 禁煙室希望
(2名1室の場合)
- 早寝などの希望があればご記入ください。

(I) 年齢 _____ 歳

(J) 性別記号 _____

(K) 宿泊記号 _____

(L) _____ 氏と同室希望

(M) _____

●次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

- 夜の自由討論の希望テーマ
- デモンストレーション希望

(N) _____

(P) _____

●申込先（下記までE-mail、郵送またはFaxで送付のこと）

社団法人 情報処理学会 事業サービス部門
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail:prosym@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

*E-mailでのお申し込みは各項目に付したアルファベットで入力してください。
(例：B:第1希望-1-b, B:第2希望-1-a, D:9月18日...)

*また、下記の住所・氏名記入欄は宛名ラベルとして使用できるように体裁で入力してください。

申込者連絡先 _____

住所 〒 _____

機関・部課名 _____

フリガナ
氏名 _____ E-mail: _____

Tel () - (ext.) Fax () -

情報処理学会第60回全国大会
講演申込書

受付番号	
講演番号	

- ・本申込書をもとに、大会プログラムを作成いたしますので正確にご記入ください。提出後の変更は一切認めません。
- ・デモセッションを「する」にした方は、必ずデモセッション申込書もあわせてお送りください。
- ・該当分野キーワードは、本会告を参照し必ず番号でご記入ください。該当するキーワードがない場合には大項目だけでもご記入ください。

講演申込種別 (該当欄に○印)	<input type="checkbox"/> 一般講演 <input type="checkbox"/> 学生セッション <input type="checkbox"/> 一般講演、学生セッションどちらでもよい	<input type="checkbox"/> デモセッション <input type="checkbox"/> (該当に○印)	<input type="checkbox"/> する / <input type="checkbox"/> しない	<input type="checkbox"/> 講演論文集 <input type="checkbox"/> (該当に○印)	<input type="checkbox"/> 希望する / <input type="checkbox"/> 希望しない
標 題					
フリガナ	講演者				
著 者 名					
所 属 名					
該当分野 キーワード	(1)	(2)	講演者 会員番号		
講演者申込区分 (該当に○印)	<input type="checkbox"/> 本会 (正会員・学生会員・正会員申請中・学生会員申請中 (月 日付) (必ずご記入ください)) <input type="checkbox"/> 他会員 (正会員・学生会員 / 電子情報通信・電気・映像情報メディア・照明) ・一般非会員・学生非会員				

論文要旨 (150字程度)

講演発表用書類送付宛名

送付先 〒	_____
機関・部課名	_____
講演者名	_____ 殿
Tel:	_____ (ext. _____) Fax: _____
E-mail:	_____

情報処理学会第60回全国大会

デモセッション申込書

受 番	付 号	
講 番	演 号	

- ・本申込書をもとに、大会プログラムを作成いたしますので正確にご記入ください。提出後の変更は一切認めません。
- ・該当分野キーワードは、本会告を参照し必ず番号でご記入ください。該当するキーワードがない場合には大項目だけでもご記入ください。

デモセッションの原稿 (該当に○印)	用意する/用意しない	講演論文集 (3,000円) (該当に○印)	希望する/希望しない
標 題			
フリガナ	申込者		
著 者 名			
所 属 名			
該当分野 キーワード	(1)	(2)	申込者 会員番号
申込者申込区分 (該当に○印)	本会 (正会員・学生会員・正会員申請中・学生会員申請中 (月 日付) (必ずご記入ください)) ・他会員 (正会員・学生会員/電子情報通信・電気・映像情報メディア・照明) ・一般非会員・学生非会員		
デモ希望日 (該当に○印)	3/14 3/15 3/16 (複数可)	持ち込み予定の機材 (すべて持ち込みが原則)	
回線使用の有無	有 / 無	所用電源 容量・設備面積	() KVA () m ²
回線種別	インターネット・ISDN・電話回線		

論文要旨 (150字程度)

関連講演標題 (一般講演または学生セッションとあわせて申込みの場合にはそのタイトル、講演者氏名を必ず記入してください)

講演発表用書類送付宛名

送付先 〒	_____
機関・部課名	_____
講演者名	_____ 殿
Tel:	_____ (ext. _____) Fax: _____
E-mail:	_____

情報処理学会第60回全国大会
一般講演、学生セッションならびにデモセッション
送金連絡票

受 番	付 号	
--------	--------	--

この連絡票は、費用の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入ください。

1. 講演参加費は1件につき、5学会正会員は9,450円、学生会員は5,250円、一般非会員は19,950円、学生非会員は9,450円です。
2. ご自身の論文が掲載されている講演論文集は、1部3,000円です。
3. 講演不採択の場合は講演参加費は返却しますが、申込後講演キャンセルされても講演参加費はいただきますのでご留意ください。
4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方はすべてこの用紙にご記入してください。
5. 銀行振込の場合は、所定の銀行口座にご送金ください。ご送金は講演発表者名でお願いします。
6. 2件以上まとめて支払う場合には、講演者氏名欄に各講演者名をきれいに記入ください（共著者名の氏名は記入しないでください）。
7. 支払件数が多く、下の票に講演者名が書ききれない場合は、別紙（書式自由）を添付してください。
8. 会期中のお支払いは受け付けませんのでご留意ください。
9. 講演参加費および講演論文集代には消費税が含まれております。
10. 講演参加費は、会期当日までにご納入ください。

	5学会会員	5学会学生会員	一般非会員	学生非会員	論文集予約
講演者氏名
小 計	円	円	円	円	円
合計金額 円					
必要書類：請求書 通 納品書 通 見積書 通 領収書 通 *必要のない方は、空欄のまま、けっこうです。					
送金方法（該当個所にレ印）： <input type="checkbox"/> 郵便振替（00150-4-83484） <input type="checkbox"/> 銀行振込 東京三菱銀行 （専用銀行口座：東京三菱銀行 虎ノ門公務部 情報処理学会講習会 普通口座No.0003774）					
送金月日： _____ 銀行 _____ 支店 / _____ 郵便局から _____ 月 _____ 日 送金名義人： _____ （未定の場合、空欄のままけっこうです。）					
通信欄：					
講演参加取扱者連絡先					
住所 〒 _____					
機関・部課名 _____					
フリガナ _____					
氏名 _____					
Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____					
E-mail： _____					

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・ 行事No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・ 欠席の場合も参加費は徴収させていただきます。
- ・ 会員の方は必ず会員No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (Aは該当番号に○)				
A: 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B: 会員No.			C: ご氏名	
D: 勤務先			E: ご所属	
F: 郵便番号	G: ご住所			
H: Tel			I: Fax	
J: E-mail				

送本先, 照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
K:

申込行事	
L: 行事No.	
M: 参加費	円
N: 懇親会費	円
O-1: 論文集のみ	円
O-2: 論文集のみ	冊

アンケート* 宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)	
P: 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q: たばこ	(1) すう (2) すわない
R: 年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
S: 通信欄	

T: 支払方法 (該当番号に○)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店</td> <td style="width: 10%;">普通</td> <td style="width: 15%;">1013945</td> <td style="width: 10%;">(</td> <td style="width: 10%;">月</td> <td style="width: 10%;">日に送金予定)</td> <td style="width: 15%;">*</td> </tr> <tr> <td>(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部</td> <td>普通</td> <td>0000608</td> <td>(</td> <td>月</td> <td>日に送金予定)</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>(3) 郵便振替 (00150-4-83484)</td> <td></td> <td></td> <td>(</td> <td>月</td> <td>日に送金予定)</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>(4) 現金持参</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>(5) 現金書留</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: center;">[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *: 送金日が分かる場合, 記入のこと</td> </tr> </table>	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店	普通	1013945	(月	日に送金予定)	*	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部	普通	0000608	(月	日に送金予定)	*	(3) 郵便振替 (00150-4-83484)			(月	日に送金予定)	*	(4) 現金持参							(5) 現金書留							[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *: 送金日が分かる場合, 記入のこと						
(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店	普通	1013945	(月	日に送金予定)	*																																					
(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部	普通	0000608	(月	日に送金予定)	*																																					
(3) 郵便振替 (00150-4-83484)			(月	日に送金予定)	*																																					
(4) 現金持参																																											
(5) 現金書留																																											
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *: 送金日が分かる場合, 記入のこと																																											
U: 送金名義人																																											
V-1: 請求書	通	V-2: 見積書	通	V-3: 納品書	通																																						
W: 請求書記載名義																																											
X: 送金に関する照会先																																											

<p style="text-align: center;">申込先 (社) 情報処理学会 調査研究/事業担当</p> <p style="text-align: center;">〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p style="text-align: center;">Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 E-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)</p> <p style="text-align: center;">E-mail:jigyo@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)</p> <p>*E-mailでの申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと.</p> <p>[例] A: (1), B: 999999, C: 情報太郎, ... T: (1) (1月30日送金予定), U: 情報太郎, V-1: 1, V-2: 1, V-3: 1, W: (株) ××電気, ...</p>

情報処理学会「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

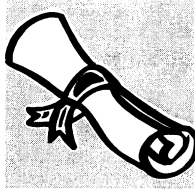
申込者					
A：会員/非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B：会員No.			C：ご氏名		
D：勤務先			E：ご所属		
F：ご住所	〒				
G：TEL			H：Fax		
I：E-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
J：照会先/送本先

「購入希望書籍」リスト			
書籍名/コード名	希望部数 (冊)	単価 (円)	金額 (円)
K-1-(a)：	K-1-(b)：	K-1-(c)：	K-1-(d)：
K-2-(a)：	K-2-(b)：	K-2-(c)：	K-2-(d)：
K-3-(a)：	K-3-(b)：	K-3-(c)：	K-3-(d)：
K-4-(a)：	K-4-(b)：	K-4-(c)：	K-4-(d)：
K-5-(a)：	K-5-(b)：	K-5-(c)：	K-5-(d)：
K-6-(a)：	K-6-(b)：	K-6-(c)：	K-6-(d)：

M：支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *		
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *		
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *		
	(4) 現金持参		
	(5) 現金書留		
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合、記入のこと			
N：送金名義人			
O-1：請求書	通	O-2：見積書	通
O-3：納品書			
P：請求書記載名義			
Q：送金に関する照会先			

<p>申込先 (社) 情報処理学会 図書担当</p> <p>〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p>E-mail: tosho@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534</p> <p>http://www.ipsj.or.jp/tosho.htmlからもお申し込みいただけます。</p> <p>*E-mailでの申込み：各項目はカンマ (,) で区切り、(1) ... (5) は選択、その他は文字を記入のこと。</p> <p>[例] A：(1), B：999999, C：情報太郎, ... K-1-(a)：情報処理Vol.38 No.3, K-1-(b)：1, K-1-(c)：1600, K-1-(d)：1600, M：(1) (1月31日送金予定), N：情報太郎, O-1：1, O-2：1, O-3：1, P：(株) ××電気, ...</p>



人材募集

(有料会告)

申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 20,000円(＋税)

賛助会員(企業) 30,000円(〃)

賛助会員以外の企業 50,000円(〃)

申込先：情報処理学会 会誌部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

●電気通信大学大学院情報システム学研究科情報システム設計学専攻

募集人員 助手 1名
所 属 データベース学講座
専門分野 データ工学。特にストレージ、インデックス、トランザクション技術等
応募資格 博士号の学位を有する(取得見込みを含む)方
着任時期 平成12年4月1日(予定希望)
応募締切 平成11年11月30日
照会先 情報システム設計学専攻 星 守
本件専用E-mail:koubo@hol.is.uec.ac.jp 詳細は<http://cis.nacsis.ac.jp/local/docs/05000.html>

●茨城大学工学部情報工学科

募集人員 助手 1名
所 属 情報科学講座
専門分野 情報科学関連分野
応募資格 情報工学または関連分野における博士号を有する(取得見込みを含む)年齢32歳くらいまでの方
着任時期 平成12年4月1日
提出書類 履歴書、研究業績リスト、学術論文別刷、教育に対する抱負、研究計画、本人についての所見を求め得る方2名の氏名、所属とその住所・職名・電話番号
応募締切 平成11年12月3日(必着)
送付先/照会先 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1 茨城大学工学部情報工学科 学科長 下条 誠
E-mail:shimojo@cis.ibaraki.ac.jp Tel(0294)38-5256

●東京理科大学工学部第一部経営工学科

募集人員 (A)教授、助教授または講師 1名 (B)助手(有期:3~5年) 若干名
担当科目 (A)経営管理、経営組織、マネジメント等に関連する分野における研究および教育(相談の上決める)
(B)経営工学実験、または計算機演習が担当できる方
応募資格 (A)45歳くらいまでで原則として博士の学位を有する方 (B)修士課程修了以上の方
着任時期 平成12年4月1日
提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷(コピー可)。なお、経営工学の将来に対するビジョン、意欲的なメッセージ等がありましたら、併せてご提出ください
応募締切 平成11年12月17日
送付先 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学工学部第一部経営工学科 事務室
「教員応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却しません
照会先 経営工学科 教授 山本 栄 E-mail:sakae@ms.kagu.sut.ac.jp Tel(03)3260-4272 (ext.3527) Fax(03)3235-6479
その他 選考結果は推薦者または応募者にお知らせします

●東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

募集人員 COE非常勤研究員 3名
専門分野 人文・社会科学の諸分野（言語学・文化人類学・歴史学・情報学など）を専攻し、またこれらの諸分野の情報化を志向する方。具体的には、アジア・アフリカ諸言語のデータベース化、言語文化情報のデータベース構築とネットワーク環境における利用法の研究など
職務内容 研究業務にかかわるテキスト処理、データベース、CALLのネットワーク上での利用のためのプログラム開発。または本研究所の国内および国際共同研究プロジェクト推進のための翻訳、通訳などの研究補助的業務
応募資格 博士の学位を有する、またはそれに相当する能力を有すると認められた年齢35歳未満（着任予定日現在）の方
*正規の勤務を持つ方、大学院生、研究生、学術振興会特別研究員は対象外
着任時期 平成12年4月1日（予定）
提出書類 履歴書、主要研究業績一覧、主要論文等（3点以内、コピー可、返却しません）
応募締切 平成11年12月20日（必着）
送付先/照会先 〒114-8580 東京都北区西ヶ原4-51-21 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 庶務係
E-mail:shomu@aa.tufs.ac.jp Tel(03)5974-3667 Fax(03)5974-3838 <http://www.aa.tufs.ac.jp>
「COE非常勤研究員応募書類在中」と朱書き書留
その他 選考方法：書類審査および面接（平成12年1月28日予定）、雇用：年度単位更新、合計で最高3年可

●大阪電気通信大学短期大学部

募集人員 助教授または講師 1名
専門分野 情報工学
担当科目 情報理論、OS、情報数学、マイクロコンピュータ工学、情報工学実験
応募資格 情報工学の分野で博士号を有する方
着任時期 平成12年4月1日
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主な学術論文別刷（5編、コピー可）、推薦書または応募者について意見を伺える方の氏名と住所、今後の教育に関する抱負（1000字程度、様式不問）
応募締切 平成11年12月24日
送付先 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学短期大学部 事務室
照会先 Tel(0720)24-1131（代） Fax(0720)24-0014（代）

●山形大学工学部電子情報工学科

募集人員 助教授 2名
専門分野 下記の3分野の中から2分野（それぞれ1名）
1) 認知科学、対話とコミュニケーション、創発知能、人工生命などの分野、2) 画像工学、マルチメディア情報処理、マルチメディア通信などの分野、3) 計算機システム、ソフトウェア工学、社会情報学などの分野
応募資格 博士の学位を有し、専門分野に研究業績があり、大学院の研究指導ができる方。マルチメディア入門、プログラミング言語、データベース、オペレーティングシステム、情報社会形成論のうちのいずれかの講義と情報基礎科目を担当できる方が望ましい
着任時期 平成12年4月以降のなるべく早い時期
提出書類 履歴書、研究業績リスト（研究論文、国際会議発表論文、著書、解説論文、特許などに分けて記載）、主要論文別刷（5編程度）、研究活動概要（これまでの研究内容と自己評価）、学会活動概要（所属学会名、学会に対する貢献など）、就任後の研究および教育に関する抱負（1000字程度）、本人に関する所見を求め得る2名の方の推薦状または氏名と連絡先
応募締切 平成12年1月6日
送付先/照会先 〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 山形大学工学部電子情報工学科 教授 平中幸雄
E-mail:zioi@eie.yz.yamagata-u.ac.jp Tel(0238)26-3322 Fax(0238)26-3299 「教官応募書類」と朱書き書留

●小樽商科大学商学部社会情報学科

募集人員 助教授または講師 1名
専門分野 情報科学関連分野
担当科目 情報システム、ソフトウェア科学関連の学部・大学院科目、および研究指導
応募資格 博士の学位を有する（取得見込みを含む）方。原則として35歳以下
着任時期 平成12年4月1日
提出書類 履歴書（本学所定用紙）、教育研究業績表（本学指定用紙）、論文別刷、今後の研究教育計画書（2000字程度、様式任意）
応募締切 平成12年1月7日（必着）
送付先 〒047-8501 北海道小樽市緑3-5-21 小樽商科大学長
「社会情報学科情報システム・ソフトウェア関連科目担当教官応募書類」と朱書き書留
照会先 庶務課人事係 E-mail:jijin@office.otaru-uc.ac.jp Tel(0134)27-5208 Fax(0134)27-5213 <http://www.otaru-uc.ac.jp/>

●群馬工業高等専門学校電気工学科／電子情報工学科

募集人員 (A) 電気工学科 助教授または講師 1名 (B) 電子情報工学科 教授または助教授 1名
専門分野 (A) 広義のエレクトロニクスまたはその関連分野 (B) 広義の電子工学または情報工学
担当科目 (A) 電気磁気学, 電気・電子回路, 電子工学, 通信工学のいずれかの科目を担当できる方
応募資格 次のいずれにも該当する方。1) 博士の学位を有し, 専攻科(学士コース)の研究指導ができる方, 2) 上記の各専門分野の方, 3) 教育・学生指導に熱意があり, 研究と両立できる方, (B) においては着任時に53歳以下の方
着任時期 平成12年4月1日(予定)
提出書類 自筆履歴書, 研究業績一覧表(著書, 研究論文, 国際会議・国内学会等に分けて記載), 主要論文別刷(5点以内, コピー可)および論文概要(300字以内), 着任後の教育・研究に対する抱負(A4判(A)1枚程度, (B)2枚程度), 推薦書があれば望ましい。(B)においては推薦書または本人の所見を得る方(複数)の氏名, 連絡先(勤務先および自宅の電話番号等)
応募締切 平成12年1月10日(必着)
送付先 〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580 群馬工業高等専門学校庶務課 人事係
E-mail:jinjji@jim.gunma-ct.ac.jp Tel(027)254-9010 Fax(027)254-9022 <http://www.gunma-ct.ac.jp/>
「電気工学科または電子情報工学科教官応募書類」と朱書き書留
照会先 庶務課人事係または
(A) 電気工学科 教授 青木利澄 E-mail:aoki@elc.gunma-ct.ac.jp Tel(027)254-9280
(B) 電子情報工学科 主任教授 保坂靖夫 E-mail:yhosaka@ice.gunma-ct.ac.jp Tel(027)254-9238
その他 選考方法: 第1次-書類選考, 第2次-面接。本校は, 5年制の学科および2年制の専攻科(学士コース)を有する国立の高等専門学校です。採用者の官職は文部教官となります

●文教大学情報学部情報システム学科

募集人員 教授または助教授 1名
専門分野 マルチメディア情報技術関連分野
担当科目 マルチメディア特論, 知能・メディア特論, 基礎ゼミ, ゼミナール, 卒業研究(予定)
応募資格 大学院博士課程修了またはそれと同等の能力を有し, 着任時50歳以下の方
着任時期 平成12年4月1日(予定)
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要業績(5点以内, 別刷またはコピー可)
応募締切 平成12年1月10日
送付先 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 文教大学 情報学部長 松原康夫
「教員応募(情報システム学科)」と朱書き書留
照会先 文教大学湘南校舎 総務課 Tel(0467)54-3703
その他 審査の必要に応じて来学いただき, 面接を受けていただく場合があります

●北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報システム学専攻

募集人員 助教授 1名
所属 計算機アーキテクチャ講座
専門分野 計算機アーキテクチャ, VLSIアーキテクチャ, 並列処理, 分散処理
応募資格 博士号を有する方。学位取得後間もない新進気鋭の方を歓迎します
着任時期 平成12年10月1日
提出書類 履歴書, 研究歴, 研究業績リスト(著書, 学術論文, 国際会議等に区別), 主要論文別刷(3編程度, コピー可), 主たる研究概要(2000字程度), 今後の研究計画(2000字程度), 教育に対する抱負(2000字程度), 推薦書(1通)または意見を伺える方1名の氏名・所属と連絡先
応募締切 平成12年2月15日
送付先 〒923-1292 石川県能美郡辰口町旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 研究科長 小野寛晰 書留
情報システム学専攻計算機アーキテクチャ講座 日比野靖 E-mail:hibino@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1270(直通)
Fax(0761)51-1149(事務室) <http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/index-jp.html>
その他 任期: 10年(再任は1回限り, 再任後任期3年)

入会申込書(正会員・学生会員)

申込日: 年 月 日

● 会員種別		<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 学生会員 卒業予定年月: 年 月		○ 専門分野コード表	
● 氏名(漢字)				凡例は5つまで、名簿掲載可能(1つ)を○で囲んでください。	
● 氏名(カナ)				大項目 中項目	
● 氏名(ローマ字)				□01基礎理論と基礎技術 □01情報数学 □02非線形力学 □03アルゴリズム理論 □04オペレーションズリサーチ □05確率・統計 □06数値計算 □07数値シミュレーション □08高性能計算	
性別		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		□02人工知能と認知科学 □01知識処理 □02人工知能システム □03自然言語処理 □04生体情報処理 □05感性情報処理	
生年月日		年 月 日		□03メディア情報処理 □01音声言語情報処理 □02画像信号処理 □03画像・図形認識 □04コンピュータグラフィクス □05テキスト処理 □06メディア処理装置 □07マルチメディア処理	
機関誌発送先		<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先(個人) <input type="checkbox"/> 勤務先(一括) グループコード:		□04ソフトウェア □01基礎理論 □02プログラミング言語と仕様記述 □03言語処理系 □04ツール □05ウィンドウシステム □06オペレーティングシステム □07プログラミング技術	
○ 自宅	住所	〒		□05データベース □01データベース □02情報学基礎	
	Tel			□06ソフトウェア工学 □01開発技術 □02テスト・保守・管理 □03ソフトウェアプロセス □04開発環境 □05ヒューマンファクタ □06ソフトウェア品質	
	Fax			□07ハードウェア □01基礎理論 □02論理回路 □03デバイス □04計算機アーキテクチャ □05メモリ/I/Oアーキテクチャ □06設計技術と設計自動化	
	E-mail			□08並列処理 □01並列処理アーキテクチャ □02並列処理ハードウェア □03並列処理ソフトウェア □04並列処理応用	
○ 勤務先・在学学校	住所	〒		□09ネットワーク □01通信技術 □02ネットワーク管理 □03コンピュータネットワーク	
	Tel	(内線)		□10システム □01システム技術 □02グループウェア □03インタフェース □04対話型システム □05オンラインリアルタイムシステム □06制御システム □07システム評価	
	Fax			□11信頼性と安全性 □01信頼性 □02機密保護	
	E-mail			□12教育 □01教育	
名称			□13応用 □01企業等への応用 □02工学等への応用 □03音楽への応用 □04人文科学への応用 □05障害者補助 □06その他への応用		
事業所名			□14その他 □01社会 □02その他		
所属					
職種・役職					
事務局からの案内		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否			
関連学会の案内		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否			
他学会在会		<input type="checkbox"/> 電子情報通信学会 会員No. <input type="checkbox"/> 電気学会 会員No. <input type="checkbox"/> 照明学会 会員No. <input type="checkbox"/> 映像情報メディア学会 会員No. <input type="checkbox"/> その他 会員No.			
*上記4学会に在会の方は、「在会証明書」を添付してください。入会金が免除になります。					
○ 卒業学校名		卒業年月		年 月	
入会の動機					
連絡事項					
バックナンバー		<input type="checkbox"/> 学会誌: 月号~ <input type="checkbox"/> 論文誌: 月号~			
注.入会時にお支払の会費・論文誌購読費はバックナンバー希望月から充当します。バックナンバーを希望しない場合は入会承認の翌月号から配布となります。					
送金(予定)日		月 日 入会時費用一覧			
金額内訳		正会員		学生会員	
入会金	¥	入会金	¥2,000	入会金	免除
会員費	¥	正会員費	¥9,600	学生会員費	¥4,800
論文誌購読費	¥	論文誌購読費: ¥6,930 (希望購読)			
合計		¥			
送金方法		<input type="checkbox"/> 郵便振替00150-4-83484 <input type="checkbox"/> 第一勧業銀行虎ノ門支店 (普)1013945 <input type="checkbox"/> 東京三菱銀行虎ノ門公務部(普)0000608 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 現金持参			
**入会後の会費等の振込には、「口座自動振替制度」を是非ご利用ください。					
必要書類		<input type="checkbox"/> 請求書 通 <input type="checkbox"/> 納品書 通 <input type="checkbox"/> 見積書 通 <input type="checkbox"/> 郵便振替用紙			
紹介者		正会員No. 氏名			

[記入要領]

- 欄は該当するものにチェックしてください。
- 英数字ははっきりわかりやすく記入してください。難解なものには(フリガナ)等を付けてください。例. 英文字のO(オ)と数字の0(ゼロ), 英文字のI(イ)と数字の1(イチ)
- は名簿掲載選択項目です。掲載不可の場合は、○の上に×を記入してください。
●は名簿掲載必須項目です。
- 性別、生年月日、卒業学校名・卒業年月については、必須データではありませんが、なるべくご記入ください。
- 紹介者がいない場合は空白のままです。

[入会方法]

- (1) 「入会申込書」に必要事項をご記入のうえ事務局会員係宛に郵便またはFaxで送ってください。インターネットからのお申し込みの場合には、ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) の「入会申込書」をご利用ください。
- (2) 申し込みと同時に入会金、会費等もお振り込みください。
- (3) 入会締切は毎月月中旬で、理事会承認後に「入会承認通知」にて会員番号をお知らせいたします。その際、定款を同封いたしますので、内容をご確認ください。

◆平成11年度

	入会金	会費	会誌	論文誌	研究会登録
正会員	2,000円	9,600円	無料配付	6,930円*	有料 (毎年改定) *
学生会員	免除	4,800円	無料配付	6,930円*	有料 (毎年改定) *
海外会員	—	5,700円	無料配付	6,600円	有料 (毎年改定) *
賛助会員	—	1口 50,000円	無料配付	6,930円*	口数により優遇*
国内購読員	—	—	1口 28,224円 (学・論セット) *	—	—
海外購読員	—	—	—	6,600円	—

*は、消費税込の金額となります。

- ◆振込口座 郵便振替 00150-4-83484
 第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普) 1013945
 東京三菱銀行 虎ノ門公務部 (普) 0000608
 名義人 社団法人 情報処理学会

[会費等の支払方法]

入会后、次年度以降の会費等の振込には、手続きが簡単で便利な「口座自動振替制度」をぜひご利用ください。

[会員資格]

会員資格は、毎年度 (4月～翌年3月) 自動継続となります。

退会、死亡、除名*1等によりその資格を喪失します。

*1.会費の滞納が1ヶ年以上におよぶ時は、その直後の総会の議決を経て除名することがあります。

[変更連絡/退会/各種問合せ方法]

各種連絡/問合せには、なるべくE-mail, Fax, 郵便をご利用ください。

- (1) 住所等会員データに変更が生じた場合には、速やかに「変更連絡届」(会誌付録掲載)の書式に従い変更内容を会員係に毎月20日頃までにご連絡ください。
- (2) 退会を希望する場合は、「退会届」(会員番号・氏名・退会年月・退会理由)を必ず会員係に提出してください。
- (3) その他の各種問合せについては、該当する係にご連絡ください。

◆各種問合せ先 (社) 情報処理学会

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	項目
総務	somu@ipsj.or.jp	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
会員	mem@ipsj.or.jp	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明
経理	keiri@ipsj.or.jp	出納
システム企画	ipsjadm@ipsj.or.jp	システム企画, 電子化専門委員会
調査研究	sig@ipsj.or.jp	研究会登録, 研究発表会, シンポジウム
事業	jigyo@ipsj.or.jp	全国大会, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp	国際会議, IFIP委員会
図書	tosho@ipsj.or.jp	出版物購入
会誌	editj@ipsj.or.jp	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載
論文誌	editt@ipsj.or.jp	情報処理学会論文誌, 出版, 転載許可
規格部 (情報規格調査会)	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/